









第一	第二	第三	第四
三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日
石川村多高 二波ノ大郡 ノ丸ノ現首字 ルノ谷無伊	二波ノ大郡 ノ丸ノ現首字 ルノ谷無伊	二波ノ大郡 ノ丸ノ現首字 ルノ谷無伊	二波ノ大郡 ノ丸ノ現首字 ルノ谷無伊
磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合
昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日
一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合
高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合

第一	第二	第三	第四
三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日	三月十日 明治 二十五年 四月 十五日
新田村多高 至夫屋城 ノ郡知 ノ郡知 ノ郡知	新田村多高 至夫屋城 ノ郡知 ノ郡知 ノ郡知	新田村多高 至夫屋城 ノ郡知 ノ郡知 ノ郡知	新田村多高 至夫屋城 ノ郡知 ノ郡知 ノ郡知
磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合	磯田浦漁業 組合
昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日	昭和二十五年 三月三十一日
一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合	一、磯田浦漁業 組合 二、磯田浦漁業 組合 三、磯田浦漁業 組合
高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合	高知縣 田野浦 漁業組合















大阪八尾間ノ次	大阪 渡寺間	金十五錢	金十錢
茨木池田間ノ次	茨木 渡寺間	金二十錢	金十五錢
池田奈良間ノ次	池田 渡寺間	金二十錢	金十五錢
伊丹奈良間ノ次	伊丹 渡寺間	金二十錢	金十五錢
和歌山岸和田間ノ次	和歌山 渡寺間	金二十錢	金十五錢
八尾神戸間ノ次	渡寺岸和田間	金二十錢	金十錢
	渡寺奈良間	金二十錢	金十五錢
	渡寺西ノ宮間	金二十五錢	金十五錢
	渡寺御影間	金二十五錢	金十五錢
	渡寺神戶間	金二十五錢	金十五錢
	渡寺明石間	金二十五錢	金十五錢
	渡寺姫路間	金三十錢	金十五錢
	渡寺岡山間	金五十錢	金二十錢

○逓信省告示第二百八十四號

本月六日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信電話通話事務ヲ取扱フ

明治四十年五月二日

名 稱 渡寺郵便局 位置 大阪府泉北郡高石村 等級 二等

○逓信省告示第二百八十五號

本月六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十年五月二日

現名稱 渡寺郵便局 改稱 渡寺公園郵便局 位置 大阪府泉北郡渡寺村

○逓信省告示第二百八十六號

本月五日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十年五月二日

名 稱 現 位置 逓信大臣山縣伊三郎 移 轉 位置 東京市下谷區下谷徒町三丁目

下谷徒町郵便局 東京市下谷區下谷徒町三丁目

○逓信省告示第二百八十七號

本月五日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年逓信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年五月三日

名 稱 高島郵便局 位置 長崎縣西彼杵郡高島村 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第二百八十八號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年逓信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年五月三日

名 稱 栃木郵便局 位置 栃木縣下都賀郡栃木町 逓信大臣山縣伊三郎



○逓信省告示第二百八十九號

本月五日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十年五月三日

名 稱 深川高橋郵便局

現位置 東京市深川區東森下町

移轉位置

東京市深川區東六間堀町

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第二百九十號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十年五月七日

逓信大臣山縣伊三郎

英貨	一パウンド	九七五五五二	一圓二付二〇
	一シリング	九八六八八〇	二〇
	一ペンニー	四〇八	二〇
佛貨	一フランク	三三〇九〇	一圓二付二
米貨	一メタライ	二〇一五九六	二
獨貨	一マルク	二〇一〇	一圓二付四十九
關貨	一フロン	八二五〇	二
土地利	一クローネ	二二五〇	一圓二付
海島利	一コロナ	二二五〇	二

香港洋銀	一メタライ	一〇五六一二五	一圓二付九十四
	一セント	一〇五六一	二
銀	一セント	一〇四〇〇〇	一圓二付九十三
	一セント	一〇四〇	二

(備考) 羅馬尼貨幣、ル、及、パニ、ノ換算割合ハ、補貨換算割合ニ同シ。\*香港爲替中對公島及郵波ニ適用ス。モノニハ銀換算割合ヲ適用シ。其他ノ地方ニ適用スルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス。

○逓信省告示第二百九十一號

本月十一日ヨリ左記電信取扱所ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十年五月七日

逓信大臣山縣伊三郎

名 稱 矢代田電信取扱所

位 置

新潟縣中蒲原郡小須戸町大字矢代田(北蒲原郡)

○逓信省告示第二百九十二號

萬國郵便條約施行細則第四條聯合各國貨幣比例表大不列顛殖民地ノ項中「香港、英領北ボルネヲ及「ラプアン」ニトアルヲ「香港及英領北ボルネヲ」ニト改メ又「ストレート、セトルメント」ニトアルヲ「ストレート、セトルメント」及「ラプアン」ニト改ム

明治四十年五月八日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第二百九十三號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十六號萬國電信條約附屬細目規則目第二十七條第四節中「東亞



弗利加英國保護國竝ニウガンダノ頂「一〇」アンナスニトアルヲ「〇六〇」ネービーニト改正ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月八日

○逓信省告示第二百九十四號

來六月一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十年五月八日

逓信大臣山縣伊三郎

現 名 稱

改 稱

位

佐世保東鹽濱町郵便局	佐世保磯石町 <small>(現佐世保市磯石町)</small> 郵便局
佐世保名切郵便局	佐世保常盤郵便局
佐世保金比羅町郵便局	佐世保今福町 <small>(同)</small> 郵便局
佐世保宮田町郵便局	佐世保城山町 <small>(同)</small> 郵便局

佐世保磯石町 <small>(現佐世保市磯石町)</small> 郵便局
佐世保常盤町 <small>(同)</small> 郵便局
佐世保今福町 <small>(同)</small> 郵便局
佐世保城山町 <small>(同)</small> 郵便局

○逓信省告示第二百九十五號

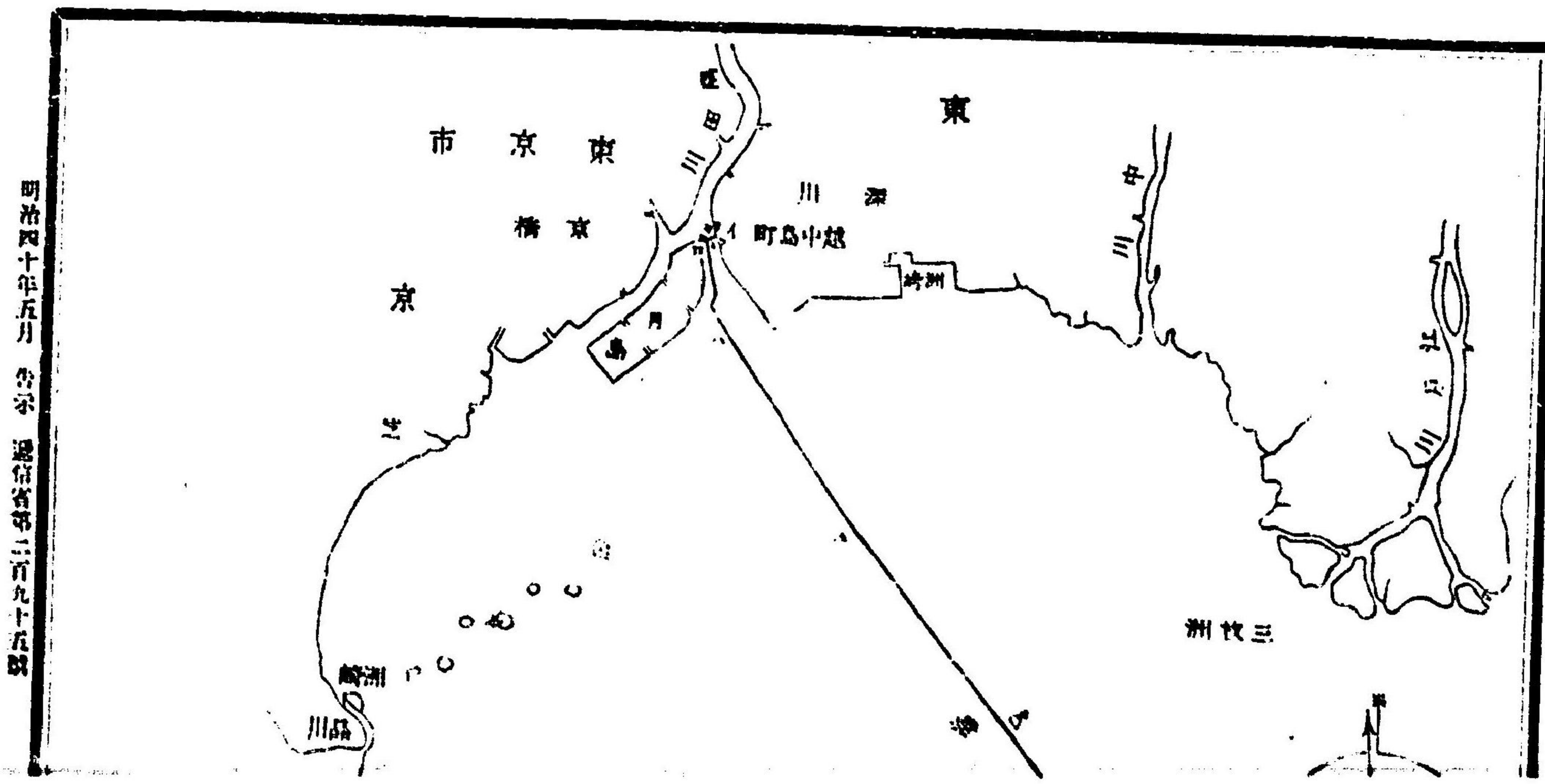
東京府深川區越中島町ト神奈川縣橋樹郡田島村大字大島新田間ニ海底電信線ヲ布設シ線路區域左ノ道指定ス

明治四十年五月八日

逓信大臣山縣伊三郎

一東京府深川區越中島町陸軍糧秣廠構内電線陸揚地ヨリ神奈川縣橋樹郡田島村大字大島新田ニ至ル海底線ニ沿ヒ六十間線條ノ左右各五間以内夫ヨリ六百五十間線條ノ左右各十間以内夫ヨリ千五百間線條ノ左右各十五間以内又大島新田陸揚地ヨリ沖ニ海里迄ハ線條ノ左右各五十間其中間ハ線條ノ左右各二百間以内





明治四十年五月 告示 逓信省第二百九十五號







○遞信省告示第二百九十六號  
本月十六日ヨリ北海道夕張線紅葉山樞間支線ニ極貨物取扱所ヲ設置シ大貨物ノ取扱ヲ開始ス哩程  
左ノ通  
明治四十年五月九日  
遞信大臣山縣伊三郎

紅葉山樞間 三哩

○遞信省告示第二百九十七號  
長崎縣肥前國松島水道船掛瀬立標及長瀬立標破壊ノ處(明治四十年三月遞信省告示第一二三號参照)  
今般廢止ノ旨同縣ヨリ報告セリ  
明治四十年五月九日  
遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第二百九十八號  
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務ヲ取扱フ  
明治四十年五月九日  
遞信大臣山縣伊三郎

名稱	現名稱	位置	等級
習志野郵便局	習志野郵便局	千葉縣千葉郡津田村	二級

○遞信省告示第二百九十九號  
本月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス  
明治四十年五月九日  
遞信大臣山縣伊三郎

現名稱	改稱	位置
習志野郵便局	習志野郵便局	千葉縣千葉郡津田村

○遞信省告示第三百號  
元岩越鐵道若松鹽川兩驛間ニ水流假停車場ヲ置キ水流在馬頭觀世音緣日相益日ニ限リ旅客ノ取扱  
ヲ爲ス旅客賃金及哩程左ノ通

明治四十年五月 告示 遞信省告示第二百九十六號 第二百九十七號 第二百九十八號 第二百九十九號 第三百號 一〇七九



但水流假停車場ノ開閉ハ關係停車場ニ揭示ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

逓信大臣山縣伊三郎

旅客賃金

木	流	若	川	多	方
一等	二等	三等	一等	二等	三等
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

哩程

若松驛ヨリ 三哩四八級

〇逓信省告示第三百一號

明治三十七年六月逓信省告示第三百二十號萬國電信條約附屬細目規則中各國隨意規定事項第七項第四號韓國內電報別使配達料及解船配達料金表中龍岩浦局ノ分ヲ左ノ通改正ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

龍岩浦局

龍岩浦地多郵局	斗	流	浦
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

〇逓信省告示第三百二號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第四表Mexico(墨西哥地方)ノ部中Contzaconlos(コソツアコルコス)ノ項ノ次ニ「Salina Cruz(サリナ、クルーズ)ヲ加フ

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

〇逓信省告示第三百三號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

但電報配達事務ヲ取扱ハス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

〇逓信省告示第三百四號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

〇逓信省告示第三百五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

〇逓信省告示第三百六號

明治三十二年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月十日

一 美作國久米郡佐良山村ノ項ノ次ニ

一 伯耆國西伯郡境町、上道村、外江村

一 伯耆國西伯郡米子町、東尾村、大字、米原、宇佐、藤原、成宮村、大字、西、大字、米子、米子、米子、米子

一 長門國豐浦郡長府村ノ項ノ次ニ

一 出雲國能登郡安來町、大字、安來(舊町)、同安來(新町)

〇逓信省告示第三百七號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加

明治四十年五月 告示 逓信省第三百四號 第三百五號 第三百六號 第三百七號







現名稱

谷田郵便局 改稱 筑波谷田郵便局  
福江郵便局 改稱 福江郵便局

茨城縣筑波郡谷田町  
鹿兒島縣出水郡中出水村

○遞信省告示第三百一十一號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

名稱

樺中渡郵便局

位置

秋田縣山本郡八森村

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十二號

本月十六日ヨリ左記電信取扱所ニ電報配達事務ヲ開始ス

名稱

宇都宮電信取扱所

位置

宇都宮市川向町

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十三號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

名稱

桐生郵便局

位置

群馬縣山田郡桐生町

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十四號

石川縣能登郡七尾南海森田グリ浮標流失ノ處(本年四月遞信省告示第二三六號參照)從前ノ通碇置ノ旨同縣ヨリ報告セリ

名稱

鹿兒島縣薩摩國鹿兒島港鹿兒島第一浮標及第二浮標流失撤去ノ處(本年二月遞信省告示第八一號及

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十五號

本年三月遞信省告示第一〇八號參照)從前ノ通碇置ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十年五月十四日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十六號

本月二十一日ヨリ六月二十日迄日本勸業銀行ニ於テ發賣スル第二十三回勸業債券ハ同期間内郵便局所ニ於テ之レカ購買媒介ヲ取扱フ

明治四十年五月十五日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百一十七號

本月二十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十年五月十六日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱

荒川沖電信取扱所

位置

茨城縣龍岡郡朝日村荒川沖停車場(舊龍岡町)

○遞信省告示第三百一十八號

本月十七日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務ヲモ取扱フ但シ當分ノ内遞信省假令令內ニ發受スルモノノ外取扱ヲ爲サス

明治四十年五月十六日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱

遞信省假令令內郵便局

位置

東京市麹町區鏡坂町

等級 二等

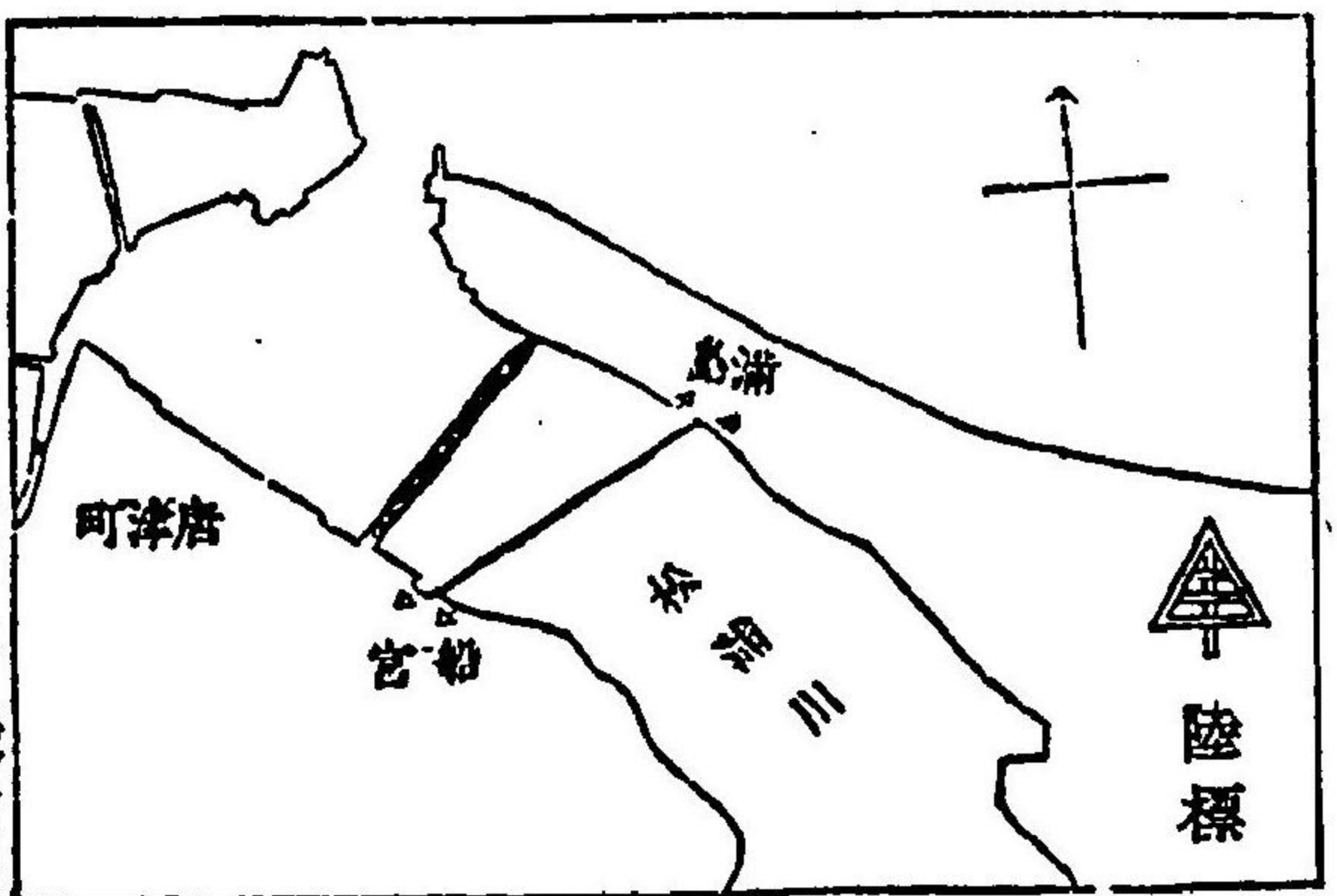
○遞信省告示第三百一十九號

肥前國東松浦郡唐津町大字唐津字船宮ト同國同郡滿島村大字滿島トノ間松浦川へ左隔ノ通水底電線一條ヲ布設シ線條ノ左右各二十間以内ヲ以テ線路區域ト定ム

明治四十年五月十七日

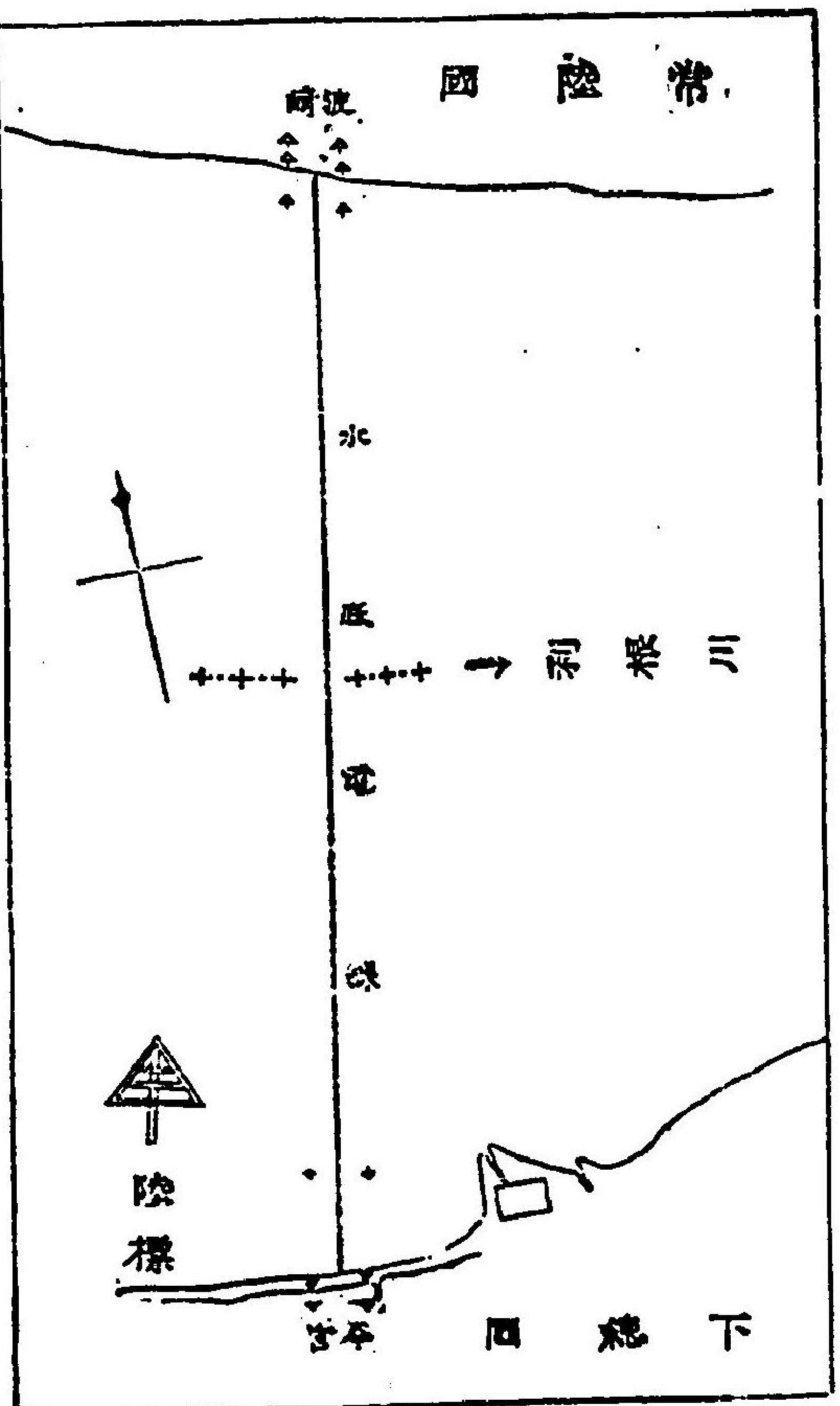
遞信大臣山縣伊三郎





海國第百八十八號同形

○逓信省告示第三百二十號  
 下總國海上郡西鏡子町字今宮ト常陸國鹿島郡東下村字波崎トノ間利根川ヘ左圖ノ通水底電線一條ヲ布設シ線條ノ左右各十三間以内ヲ以テ線路區域ト定ム  
 明治四十年五月十七日  
 逓信大臣山縣伊三郎



○逓信省告示第三百二十一號  
 明治三十九年六月逓信省告示第二百六十二號外國小包郵便料金表(第一郵便料金ノ部)中白耳義ノ項ヲ左ノ通改正ス  
 明治四十年五月十七日  
 逓信大臣山縣伊三郎







明治四十年五月 告示 遞信省第三百二十六號 第三百二十七號 第三百二十八號 第三百二十九號 第三百三十號 一〇九〇

現名稱 交川郵便局 改稱 大嶽郵便局 位置 山口縣美祿郡大嶽村

○遞信省告示第三百二十六號  
本月三十一日限り左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス

明治四十年五月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 四郎ヶ原郵便局

位置 山口縣美祿郡大嶽村

○遞信省告示第三百二十七號

來六月一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十年五月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 赤崎郵便局

位置 熊本縣天草郡赤崎村

○遞信省告示第三百二十八號

來六月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十年五月二十二日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 神戶三宮郵便局

現在位置 神戶市元町一丁目

移轉位置 神戶市西町

○遞信省告示第三百二十九號

今般橫濱海務署ヲ橫濱市西波止場ニ移轉セリ

明治四十年五月二十三日

遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省告示第三百三十號

關東半島大連灣内碇置ノ浮標ノ位置構造等左ノ如シ

明治四十年五月二十四日

遞信大臣山縣伊三郎

大連防波堤東端浮標

一位置

大連防波堤ノ東端

一構造及著色 鐵造圓錐形紅色、上部ニ鐵柱ヲ立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク(當分點火セス)

一水面上ノ高 約十四尺

一水深 大低潮時約四尋四分ノ一

一方位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

大連鐵道埠頭信號竿ハ南七十七度西、距離六鏈四分ノ一

大連防波堤西端浮標

一位置 大連港防波堤ノ西端

一構造及著色 鐵造圓錐形紅色、上部ニ鐵柱ヲ立テ頂上ニ燈器ヲ掲ク(當分點火セス)

一水面上ノ高 約十四尺

一水深 大低潮時約四尋四分ノ一

一方位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

大連鐵道埠頭信號竿ハ南四度西、距離四鏈二分ノ一

大連最東埠頭端浮標

一位置 大連港最東埠頭端

一構造及著色 木造方錐形紅色

一水面上ノ高 約四尺

一水深 大低潮時約四尋

一方位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

大連鐵道埠頭信號竿ハ南八十五度西、距離四鏈

大連西溜沖浮標

明治四十年五月 告示 遞信省第三百三十號



- 一 位置 大連港西溜沖ニ突出セル礁脈ノ外端
- 一 構造及著色 木造方錐形紅色
- 一 水面上ノ高 約四尺
- 一 水深 大低潮時約三尋四分ノ三
- 一 方位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

紅娘子江石浮標

- 一 位置 和尚島ノ南西紅娘子江石ノ南側
- 一 構造及著色 鐵造圓筒形紅色(約中部ハ斜ニ)
- 一 水面上ノ高 約三尺
- 一 水深 大低潮時約四尋四分ノ一
- 一 方位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

○遞信省告示第三百三十一號

來六月一日ヨリ左記電信取扱所ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十年五月二十五日

遞信大臣山縣伊三郎

岩田電信取扱所

山口縣熊毛郡若田村若田停車場

坂電信取扱所

廣島縣安藝郡坂村坂停車場

○遞信省告示第三百三十二號

萬國郵便條約施行細則第四條聯合各國貨幣比價表亞米利加合衆國所領地ノ項中「ホルトリコングア

ム」及「フィリッピン」諸島ノ部左ノ通改正ス

明治四十年五月二十五日

遞信大臣山縣伊三郎

「ホルトリコング」及「グアム」 五センチポ 一センチポ 一センチポ

「フィリッピン」諸島 十センチポ 四センチポ 一センチポ

○遞信省告示第三百三十三號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十年五月二十五日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 須川郵便局

位置 長崎縣南高來郡西有家村

○遞信省告示第三百三十四號

來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十年五月二十五日

遞信大臣山縣伊三郎

名稱 砂川郵便局

位置 北海道石狩國空知郡砂川村

○遞信省告示第三百三十五號

肥前國北松浦郡南田平村大字小手田大久保免字後平ト同國同郡大島村大字大島前平免字當時ヶ浦

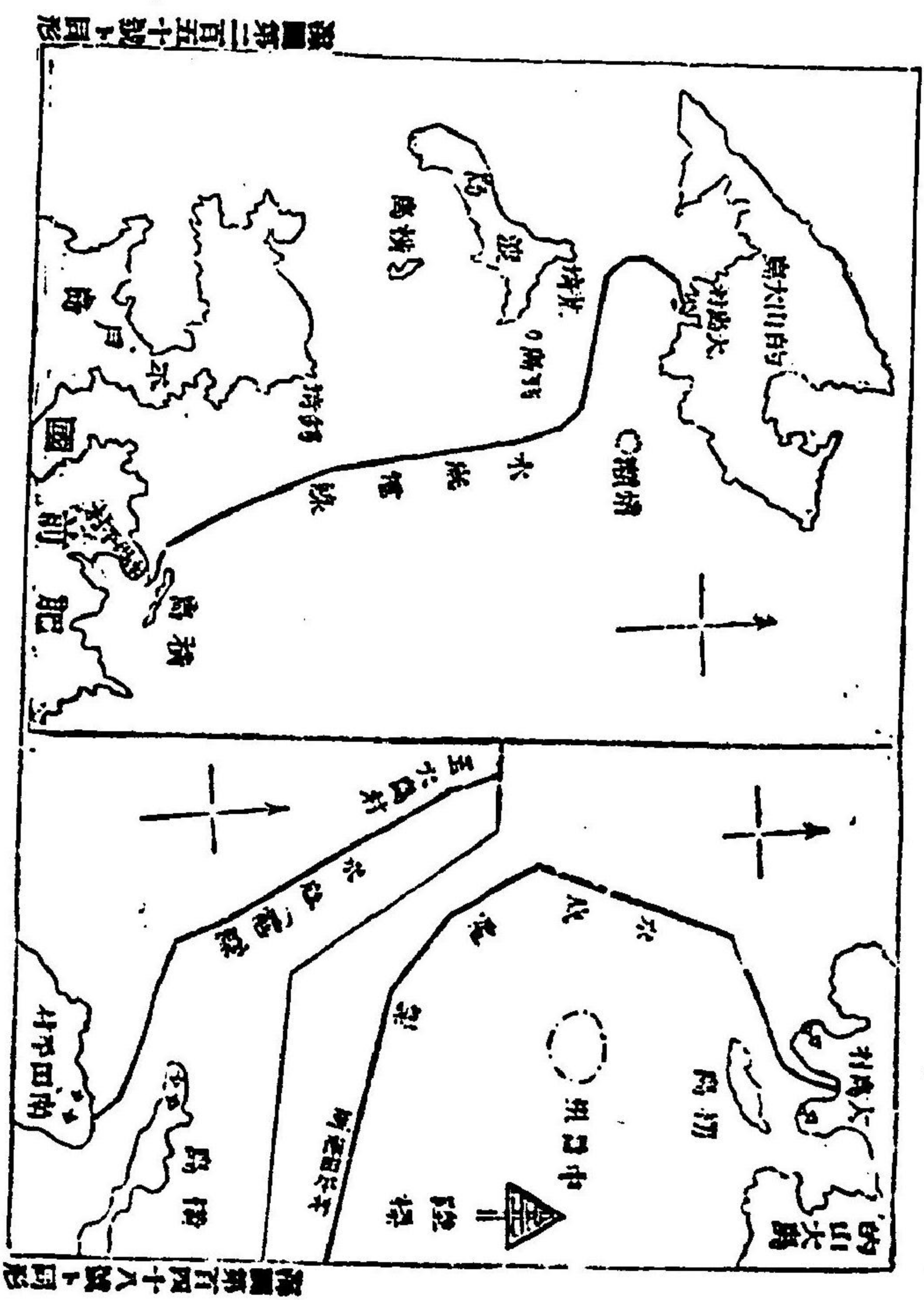
間ニ左圖ノ通水底電線一條ヲ布設シ兩陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖四百間マテハ線條ノ左右各五十

間以內中間ハ線條ノ左右各百間以內ヲ以テ該線路ト定ム

明治四十年五月二十七日

遞信大臣山縣伊三郎





○遞信省告示第三百三十六號  
帆船賣賣丸外四十艘ニ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治四十年五月二十七日

遞信大臣山縣伊三郎

信號符字	番號	種類	船名	船籍港	所有者
J G M F	五一四五	帆船	賣賣丸	波島區函館區	中野喜八
J G M H	五一四六	帆船	運丸	波島區函館區	片野幸十郎
J G M K	五一四七	帆船	二號丸	波島區函館區	佐藤永吉
J G M L	五一四八	帆船	三號丸	波島區江邊町	永瀬松太郎
J L M V	六〇五八	帆船	小川丸	日向國杵臼村	日高政吉
J L M W	六〇五九	帆船	榮丸	日向國高鍋町	黒木清五郎
L D K H	七一一八	帆船	第二十號丸	橫須賀市	川井運船合資會社
J W P M	七四九九	帆船	幸運丸	周防國和田村	和泉岩治郎
J W L C	七九四八	帆船	永裕丸	越中國石田村	宮崎清太郎
J W D C	八〇五一	汽船	開宮丸	新潟縣市	熊谷清
J W D F	八〇五二	帆船	東郷丸	新潟縣市	片桐寅吉
J Q M H	八五六五	帆船	報德丸	伊豆國松崎町	山本伊助
J G P R	九〇七五	汽船	留瓶丸	後志國小樽區	丸一本間合名會社
L D M P	一〇一三六	帆船	賣賣丸	高知市	入交榮治







種別	貨	貨	貨	貨	貨
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント
郵便	一 ヤムル	一 フロリン	一 クロネ	一 コロナ	一 セント

○逓信省告示第三百三十八號  
 (備考) 羅馬尼貨幣ル一及「パニ」ヲ換算對合ハ佛貨換算對合ニ同シ。\*香港爲幣中對公島及英波ニ擬定アルモノニハ銀換算對合ヲ適用シ其他ノ地方ニ擬定アルモノニハ香港洋紙換算對合ヲ適用ス

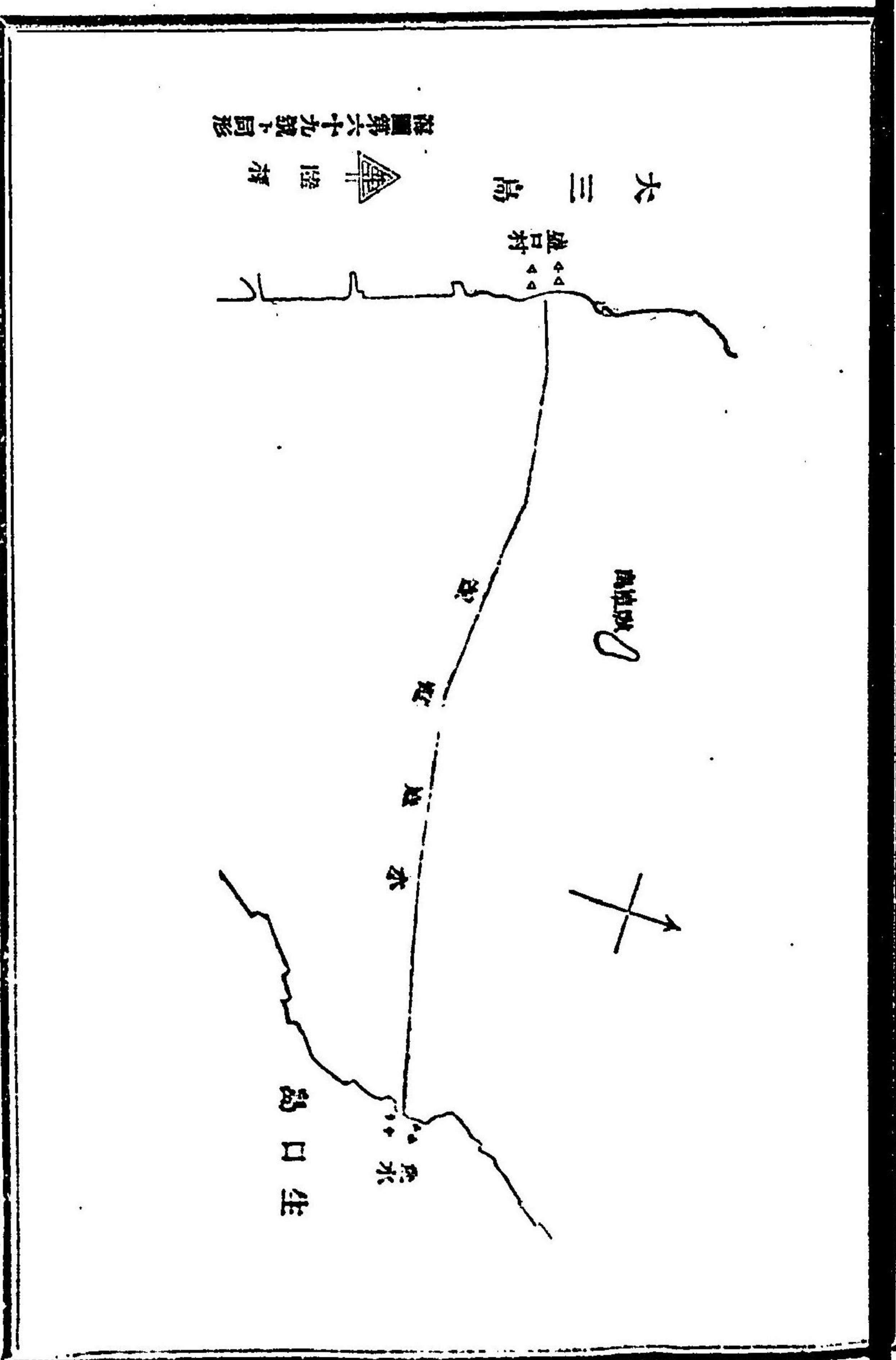
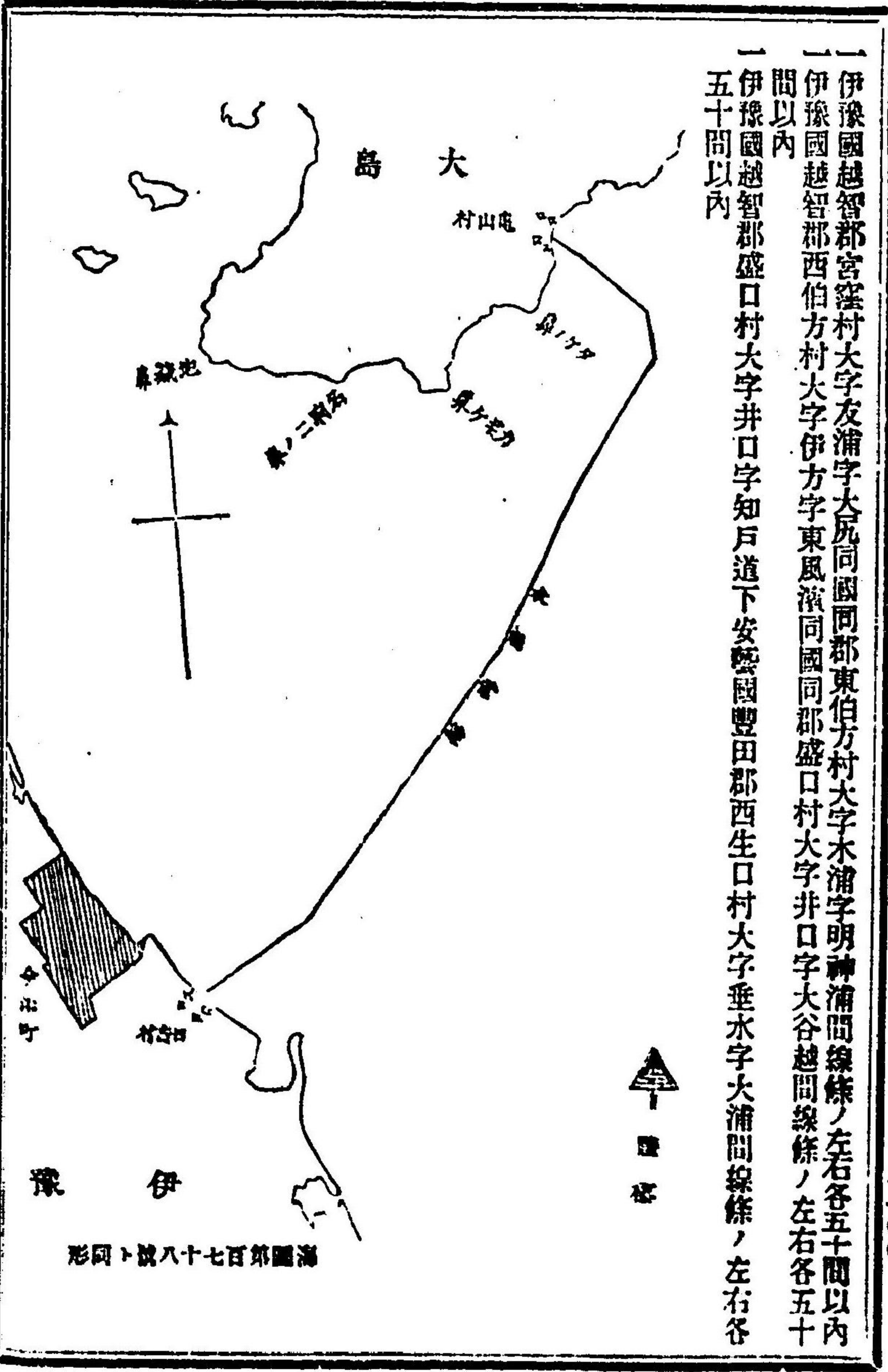
○逓信省告示第三百二十九號  
 明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス  
 明治四十年五月二十八日  
 名稱 龍江郵便局 位置 長野縣下伊那郡龍江村  
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第四百六十九號  
 明治三十五年十月逓信省告示第四百六十九號查岐國壹岐郡初山村ヨリ對馬國下縣郡嚴原村ニ至ル水底電線路區域圖左ノ通改ム  
 明治四十年五月二十八日  
 逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第三百四十號  
 左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線路區域左記ノ通相定ム  
 明治四十年五月二十八日  
 一伊豫國越智郡日吉村大字藏敷字舊臺場同國同郡龜山村大字南浦字城谷間線條ノ左右各五十間以内  
 逓信大臣山縣伊三郎  
 明治四十年五月 告示 逓信省第三百四十號



- 一 伊豫國越智郡宮窪村大字友浦字大尻同國同郡東伯方村大字木浦字明神浦間線條ノ左右各五十間以內
- 一 伊豫國越智郡西伯方村大字伊方字東風濱同國同郡盛口村大字井口字大谷越間線條ノ左右各五十間以內
- 一 伊豫國越智郡盛口村大字井口字知戸道下安藝國豐田郡西生口村大字垂水字大浦間線條ノ左右各五十間以內









○逓信省告示第三百四十二號

各一等郵便局(函館)下關東及門司ノ各二等郵便局並ニ在清國上海天津廈門牛莊汕頭及廣東各本邦郵便局(天津郵便局各)ニ於テハ外國郵便局ニ對シ直接ニ萬國聯合郵便爲替並ニ香港及共ノ媒介爲替ノ振出及拂渡業務ヲ取扱ヒ共ノ他ノ郵便局ニ於テハ所轄一等郵便局ヲ經由シテ該爲替ノ受拂業務ヲ取扱フ但シ函館下關東及門司各二等郵便局所在地ニ設置シタル此レ等各局以外ノ郵便局ハ當該二等郵便局ヲ、韓國郵便局所及在滿洲本邦郵便電信局所(牛莊郵便局)ハ總テ長崎郵便局ヲ在樺太郵便電信局所ハ總テ橫濱郵便局ヲ、在清國芝罘、沙市、杭州、蘇州、漢口、南京及長沙各本邦郵便局(漢口郵便局ニ屬スル)並ニ在鎮江本邦郵便受取所ハ在清國上海本邦郵便局ヲ、在清國北京本邦郵便局ハ在清國天津本邦郵便局ヲ、在清國福州本邦郵便局ハ在清國廈門本邦郵便局ヲ經由シテ共ノ受拂業務ヲ取扱フ  
本告示ハ來六月一日ヨリ施行シ明治三十八年五月逓信省告示第二百四十九號ハ本告示施行ノ日ヨリ廢止ス

明治四十年五月二十九日

○逓信省告示第三百四十三號

明治三十八年七月逓信省告示第四百二十六號中「神戸三宮」ヲ削り來六月一日ヨリ施行ス

明治四十年五月二十九日

○逓信省告示第三百四十四號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「宿居」ノ項ヲ削除ス

明治四十年五月三十日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第三百四十五號

明治三十七年六月逓信省告示第三百十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「洛東」次ニ左ノ項ヲ追加シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十年五月三十日

逓信大臣山縣伊三郎

羅南

○逓信省告示第三百四十六號

自今露西亞宛郵便物ハ特ニ指定アルモノノ外總テ西比利亞經由遞送方取計フ

明治四十年五月三十日

逓信大臣山縣伊三郎

○逓信省告示第三百四十七號

大阪府攝津國大阪市安治川口天保山燈臺ハ燈器破損ノ爲メ光力ヲ減セリ

但ニ日燈器交換ノ上更ニ告示スヘシ

逓信大臣山縣伊三郎

明治四十年五月三十日

○逓信省告示第三百四十八號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料電話呼出料中左ノ通改正シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十年五月三十日

逓信大臣山縣伊三郎

加入區域外 電話區域	一通話料	一回ノ電 話呼出料
「長東京須坂間」ノ次ニ左ノ通追加	長東京 松木間	金六十五錢
「高崎伊勢崎間」ノ次ニ左ノ通追加	高崎 松木間	金四十錢
		金二十錢



「前橋伊勢崎間」ノ次ニ左ノ通追加

前橋 本間	金四十五錢	金二十錢
長東京 龜崎間	金九十五錢	金二十錢
長東京 中田間	金九十五錢	金二十錢
長東京 崎間	金九十五錢	金二十錢
長東京 中田間	金九十五錢	金二十錢
長東京 崎間	金九十五錢	金二十錢

○逓信省告示第三百四十九號

明治四十年五月 逓信省告示第二百二十三號別表第三號表ニ指定スル逓信官署中神戸郵便局管轄神戸三宮郵便局ヲ本年五月三十一日限り削除ス

○逓信省告示第三百五十號

本日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱タル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十年五月三十一日 逓信大臣山縣伊三郎

○統監府告示第六十三號(官報五月八日) 津共進會郵便局 位 區 三度縣津市大字下部田 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十四號(官報五月八日) 仁川内洞郵便局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十五號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十六號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十七號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十八號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第六十九號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十一號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十二號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十三號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十四號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十五號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十六號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十七號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十八號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第七十九號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十一號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十二號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十三號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十四號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十五號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十六號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十七號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十八號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第八十九號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第九十號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第九十一號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第九十二號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第九十三號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局

○統監府告示第九十四號(官報五月八日) 龍岩浦 龍岩浦鐵地多郵局 位 區 京畿道仁川府内洞内洞 承繼局名 津郵便局











忠清北道		忠清南道	
通信官署名	位	通信官署名	位
忠州郵便局	忠州郡忠州邑	忠州郵便局	忠州郡忠州邑
清州郵便局	清州郡清州邑	清州郵便局	清州郡清州邑
黃海道	黃海道各郡邑	黃海道	黃海道各郡邑
渭川郡	渭川郡渭川邑	渭川郡	渭川郡渭川邑
報恩郡	報恩郡報恩邑	報恩郡	報恩郡報恩邑
鐵川郡	鐵川郡鐵川邑	鐵川郡	鐵川郡鐵川邑
槐山郡	槐山郡槐山邑	槐山郡	槐山郡槐山邑
堤川郡	堤川郡堤川邑	堤川郡	堤川郡堤川邑
出納受持區域	忠州郡 清州郡 渭川郡 報恩郡 鐵川郡 槐山郡 堤川郡	出納受持區域	忠州郡 清州郡 渭川郡 報恩郡 鐵川郡 槐山郡 堤川郡
受持韓國金庫	忠州支金庫	受持韓國金庫	忠州支金庫

全羅北道		全羅南道	
通信官署名	位	通信官署名	位
全州郵便局	全州郡全州邑	全州郵便局	全州郡全州邑
南原郵便局	南原郡南原邑	南原郵便局	南原郡南原邑
津山郵便局	津山郡津山邑	津山郵便局	津山郡津山邑
鎭山郵便局	鎭山郡鎭山邑	鎭山郵便局	鎭山郡鎭山邑
鎭安郵便局	鎭安郡鎭安邑	鎭安郵便局	鎭安郡鎭安邑
龍潭郵便局	龍潭郡龍潭邑	龍潭郵便局	龍潭郡龍潭邑
成悅郵便局	成悅郡成悅邑	成悅郵便局	成悅郡成悅邑
金堤郵便局	金堤郡金堤邑	金堤郵便局	金堤郡金堤邑
扶安郵便局	扶安郡扶安邑	扶安郵便局	扶安郡扶安邑
興德郵便局	興德郡興德邑	興德郵便局	興德郡興德邑
出納受持區域	全州郡 南原郡 津山郡 鎭山郡 鎭安郡 龍潭郡 成悅郡 金堤郡 扶安郡 興德郡	出納受持區域	全州郡 南原郡 津山郡 鎭山郡 鎭安郡 龍潭郡 成悅郡 金堤郡 扶安郡 興德郡
受持韓國金庫	全州支金庫	受持韓國金庫	全州支金庫

明治四十年五月 告示 統監府第七十一號



通信官署名		位	出納	受持區域	受持韓國金庫
慶州郵便局	慶州郵便局	慶州	慶州	慶州	大邱支金庫
安東州郵便局	安東州郵便局	安東	安東	安東	
延日州郵便局	延日州郵便局	延日	延日	延日	釜山支金庫
清道州郵便局	清道州郵便局	清道	清道	清道	
永川州郵便局	永川州郵便局	永川	永川	永川	釜山支金庫
慈仁州郵便局	慈仁州郵便局	慈仁	慈仁	慈仁	
軍威州郵便局	軍威州郵便局	軍威	軍威	軍威	釜山支金庫
善山州郵便局	善山州郵便局	善山	善山	善山	
金山州郵便局	金山州郵便局	金山	金山	金山	釜山支金庫
青松州郵便局	青松州郵便局	青松	青松	青松	
榮川州郵便局	榮川州郵便局	榮川	榮川	榮川	釜山支金庫
密陽州郵便局	密陽州郵便局	密陽	密陽	密陽	

通信官署名		位	出納	受持區域	受持韓國金庫
春川州郵便局	春川州郵便局	春川	春川	春川	中央金庫
江陵州郵便局	江陵州郵便局	江陵	江陵	江陵	
鐵原州郵便局	鐵原州郵便局	鐵原	鐵原	鐵原	中央金庫
淮陽州郵便局	淮陽州郵便局	淮陽	淮陽	淮陽	
原州州郵便局	原州州郵便局	原州	原州	原州	中央金庫
洪川州郵便局	洪川州郵便局	洪川	洪川	洪川	
伊川州郵便局	伊川州郵便局	伊川	伊川	伊川	中央金庫
杆城州郵便局	杆城州郵便局	杆城	杆城	杆城	
平昌州郵便局	平昌州郵便局	平昌	平昌	平昌	中央金庫
蔚珍州郵便局	蔚珍州郵便局	蔚珍	蔚珍	蔚珍	
楊口州郵便局	楊口州郵便局	楊口	楊口	楊口	中央金庫
三陟州郵便局	三陟州郵便局	三陟	三陟	三陟	
襄陽州郵便局	襄陽州郵便局	襄陽	襄陽	襄陽	元山支金庫
通川州郵便局	通川州郵便局	通川	通川	通川	







○統監府告示第七十二號(官報五月二十五日)  
明治四十年六月一日ヨリ左記郵便電信取扱所ヲ設置ス但レ該文電報及韓國國庫金ノ出納保管事務ハ之ヲ取扱ハス

統監侯爵伊藤博文

明治四十年五月十四日  
名 稱 羅南郵便電信取扱所 位 置 咸鏡北道鐵城郡新村社羅南洞  
○統監府告示第七十三號(官報五月二十五日)  
左記郵便電信取扱所ヲ其ノ開始ノ日以降當分ノ内明治三十七年五月遞信省令第三十七號ニ依リ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ノ取扱ヲ爲サシム

統監侯爵伊藤博文

明治四十年五月十四日  
名 稱 羅南郵便電信取扱所 位 置 咸鏡北道鐵城郡新村社羅南洞  
○統監府告示第七十四號(官報五月二十五日)  
明治四十年五月十五日限リ左記郵便電信取扱所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便電信取扱所之ヲ承繼ス

統監侯爵伊藤博文

明治四十年五月十五日  
名 稱 官邸郵便電信取扱所 位 置 咸鏡北道寧寧郡東社官邸 承繼所名 官邸郵便電信取扱所  
○統監府告示第七十五號(官報五月二十五日)  
明治四十年五月三十一日限リ左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

統監侯爵伊藤博文

名 稱	位 置	承繼局名
仁川邑郵便所	京畿道仁川府内河内洞	仁川郵便局
開城郵便所	京畿道開城郡開城邑	開城郵便局
水原郵便所	京畿道水原郡水原邑	水原郵便局
公州郵便所	忠清南道公州郡公州邑	公州郵便局

洪州郵便所	忠清南道洪州郡洪州邑	洪州郵便局	海州郵便所	黃海道海州郡海州邑	海州郵便局
忠州郵便所	忠清北道忠州郡忠州邑	忠州郵便局	三和郵便所	平安南道三和府元瑞坊碑	三和郵便局
清州郵便所	忠清北道清州郡清州邑	清州郵便局	定州郵便所	平安北道定州郡定州邑	定州郵便局
光州郵便所	全羅南道光州郡光州邑	光州郵便局	寧邊郵便所	平安北道寧邊郡寧邊邑	寧邊郵便局
務安郵便所	全羅南道務安府二老南洞	務安郵便局	寧南郵便所	平安北道寧南郡寧南邑	寧南郵便局
全州郵便所	全羅北道全州郡全州邑	全州郵便局	江界郵便所	平安北道江界郡江界邑	江界郵便局
南原郵便所	全羅北道南原郡南原邑	南原郵便局	成興郵便所	咸鏡南道成興郡成興邑	成興郵便局
沃津郵便所	全羅北道沃津府北面藏財洞	沃津郵便局	北青郵便所	咸鏡南道北青郡北青邑	北青郵便局
晉州郵便所	慶尙南道晉州郡晉州邑	晉州郵便局	德源郵便所	咸鏡南道德源府赤田社德源洞	德源郵便局
大邱郵便所	慶尙北道大邱郡大邱邑	大邱郵便局	咸興郵便所	咸鏡北道咸興郡咸興邑	咸興郵便局
慶州郵便所	慶尙北道慶州郡慶州邑	慶州郵便局	會寧郵便所	咸鏡北道會寧郡會寧邑	會寧郵便局
尙州郵便所	慶尙北道尙州郡尙州邑	尙州郵便局	咸興郵便所	咸鏡北道咸興郡咸興邑	咸興郵便局
春川郵便所	江原道春川郡春川邑	春川郵便局	咸興郵便所	咸鏡北道咸興郡咸興邑	咸興郵便局
江陵郵便所	江原道江陵郡江陵邑	江陵郵便局	咸興郵便所	咸鏡北道咸興郡咸興邑	咸興郵便局
金城郵便所	江原道金城郡金城邑	金城郵便局	咸興郵便所	咸鏡北道咸興郡咸興邑	咸興郵便局

○統監府告示第七十六號(官報五月二十五日)  
左ニ指定スル統監府通信官署ノ經費ハ明治三十八年勅令第二百八十號及通信官署經費渡切規則ニ依リ明治四十年六月一日ヨリ渡切ヲ以テ其ノ經費ノ全部又ハ一部ヲ當該局所長ニ交付ス  
明治三十九年四統監府告示第二十號ハ明治四十年五月三十一日限リ之ヲ廢止ス

統監侯爵伊藤博文

明治四十年五月十五日  
郵便局 京城仁川釜山水滸群山平 嶺畿元山ノ各局ヲ除ク  
以上ノ通信官署ニ對シテハ明治三十九年一統監府令第三號ニ依リ明治三十八年四遞信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費



及當該郵便集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス

仁川郵便局 水浦郵便局 群山郵便局 濰州郵便局 元山郵便局  
以上ノ通信官署ニ對シテハ當該郵便局集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス

郵便電信取扱所  
郵便取扱所 釜山 水浦 郵便  
取扱所ヲ除ク

以上ノ通信官署經費ニ對シテハ明治三十九年一統監府令第三號ニ依リ明治三十八年四選信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第一號乃至第七號第十一號乃至第十三號ノ經費及當該取扱所集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス

郵便所  
郵便所

以上ノ通信官署ニ對シテハ明治三十九年一統監府令第三號ニ依リ明治三十八年四選信省令第三十號通信官署經費渡切規則施行細則第一條第八號又ハ第八號乃至第十號ノ經費ヲ交付ス

○統監府告示第七十七號(官報五月二十五日)  
京城郵便局電話普通加入區域  
明治四十年五月十五日

統監侯爵伊藤博文

一 京城郵便局電話普通加入區域  
一 京城郵便局電話普通加入區域  
一 京城郵便局電話普通加入區域

○統監府告示第七十八號(官報五月二十五日)  
明治四十年五月十六日ヨリ左記郵便所ニ電話通話事務ヲ開始シ下記郵便局所相互間ノ通話ヲ取扱ハシム

明治四十年五月十五日

統監侯爵伊藤博文

名	稱	位	置	通話スヘキ郵便局所名
仁川内洞郵便所	京城道仁川府府	内洞内洞		仁川郵便局(加入者共) 光化門郵便局 西大門郵便局 永登浦郵便局(加入者共) 南大門郵便局 永登浦郵便局(加入者共) 龍山元町郵便所(加入者共) 龍山元町郵便所

○統監府告示第七十九號(官報五月二十七日)  
明治四十年六月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ同局電話加入者ノ電線託送電報ヲ取扱ハシム

統監侯爵伊藤博文

明治四十年五月十九日  
名 稱 平壤郵便局 位 置 平安南道平壤郡區都統署光寧洞

○統監府告示第八十號(官報五月二十七日)  
明治四十年六月一日ヨリ京城平壤間ニ長距離電話通話ヲ開始ス

統監侯爵伊藤博文

○臺灣總督府告示第五十八號(官報五月十三日)  
明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便電信局及電話所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ左ノ通退加ス

臺灣總督子爵佐久間左馬太

明治四十年五月 告示 統監府第七十八號 第七十九號 第八十號 臺灣總督府第五十八號























明治何年何月何日

水道管理者何某殿

給水用具設置承諾書

右何町何號地自分所有地(家屋)内ニ給水用具設置ノ承諾書ニ付テハ審モ異議無之候依テ承諾書差出候也  
明治何年何月何日  
何町何號地  
何 某

水道管理者何某殿

給水用具支分引用承諾書

右何町何號地ニ給水請求ニ付何町何號地所在何々給水何號ノ給水用具ヨリ支分引用ノ應審モ異議無之候依テ承諾書差出候也  
明治何年何月何日  
何町何號地  
何 某

水道管理者何某殿

量水器借用證書

何町何號地所在何々給水何號  
一口徑何寸量水器 何箇  
右借用係ニ付テハ自分ニ於テ保管ノ責ニ任シ若シ亡失毀損致候場合ハ御指定ノ金額賠償可致候也  
明治何年何月何日  
何町何號地  
何 某

水道管理者何某殿

計量給水流未設置新設増設(何々)届

一給水機所 何町何號地  
一給水機 何箇  
一備用ノ目的 何々  
右給水用具流未設置新設(増設)何々ノ致度ニ付承認相成度別紙設計書圖面及ヒ所用材料調査相添(届出候也)  
明治何年何月何日  
何町何號地  
何 某

水道管理者何某殿

専用消火栓設置請求書

一設置場所 何町何號地  
一内徑及寸數 何吋何箇  
右水道機則ニ依リ設置相成度候也  
明治何年何月何日  
何町何號地  
何 某

水道管理者何某殿

給水種類變更事由届

何町何號地所在何々給水何號  
右ハ今般何々營業開始(何々)ノ爲メ給水種類變更ヲ要シ候ニ付届出候也  
明治何年何月何日  
給水使用者 何 某  
何町何號地 何 某

水道管理者何某殿

専用給水異動届

何町何號地所在何何號  
一人口 元何人 改何人  
一牛馬數 元何頭 改何頭



右何月何日より異動ニ付届出候也  
明治何年何月何日

水道管理者何某殿

旅順(大連)何町何號地  
給水使用者

何 某

共用給水鑑札亡失(毀損)届

何町何號地所在第何號  
一鑑札 何枚 何町何號地何某名鑑/分  
右亡失(毀損)候ニ付再渡相成度候也  
明治何年何月何日

旅順(大連)何町何號地  
使用者  
(總代人)

何 某

水道管理者何某殿

給水廢止(中止)届

何町何號地所在第何號  
一專用(計量)給水  
右何月何日より廢止(中止)候ニ付届出候也  
明治何年何月何日

旅順(大連)何町何號地  
使用者  
(總代人)

何 某

水道管理者何某殿

給水用具賣買(讓與貸借貸借解除)届

何町何號地所在第何號  
一專用(計量)給水  
右給水用具賣買(讓與貸借貸借解除)致候ニ付テハ給水使用ニ關スル一切ノ權利義務ハ買受(讓與貸借)人ニ於テ繼承可  
致候此段届出候也

(共用給水ノ場合ハ鑑札ヲ添付スヘシ)

明治何年何月何日

水道管理者何某殿

共用給水總代人變更届

何町何號地所在第何號  
一共用給水  
右總代人變更ニ付届出候也  
明治何年何月何日

旅順(大連)何町何號地  
買(讓與)渡人  
同 何町何號地  
買(讓與)受人

何 某  
何 某

水道管理者何某殿

給水開通請求書

何町何號地所在第何號  
一專用(計量)給水  
右何月何日より中止ノ處何月何日より開通相成度候也  
明治何年何月何日

旅順(大連)何町何號地  
使用者  
同 何町何號地  
同 何町何號地  
同 何町何號地  
新總代人

何 某  
何 某  
何 某

水道管理者何某殿

專用消火栓使用演習請求書

何町何號地所在第何號

旅順(大連)何町何號地  
使用者

何 某



一 專用消火栓  
右何月何日午前(後)第何時ヨリ使用致意致度候地  
明治何年何月何日

旅順(大連)何町何號地

何 某

水道管理者何某殿

船舶給水請求書

一 所要水量 何立方米

右給水相成度請來候也

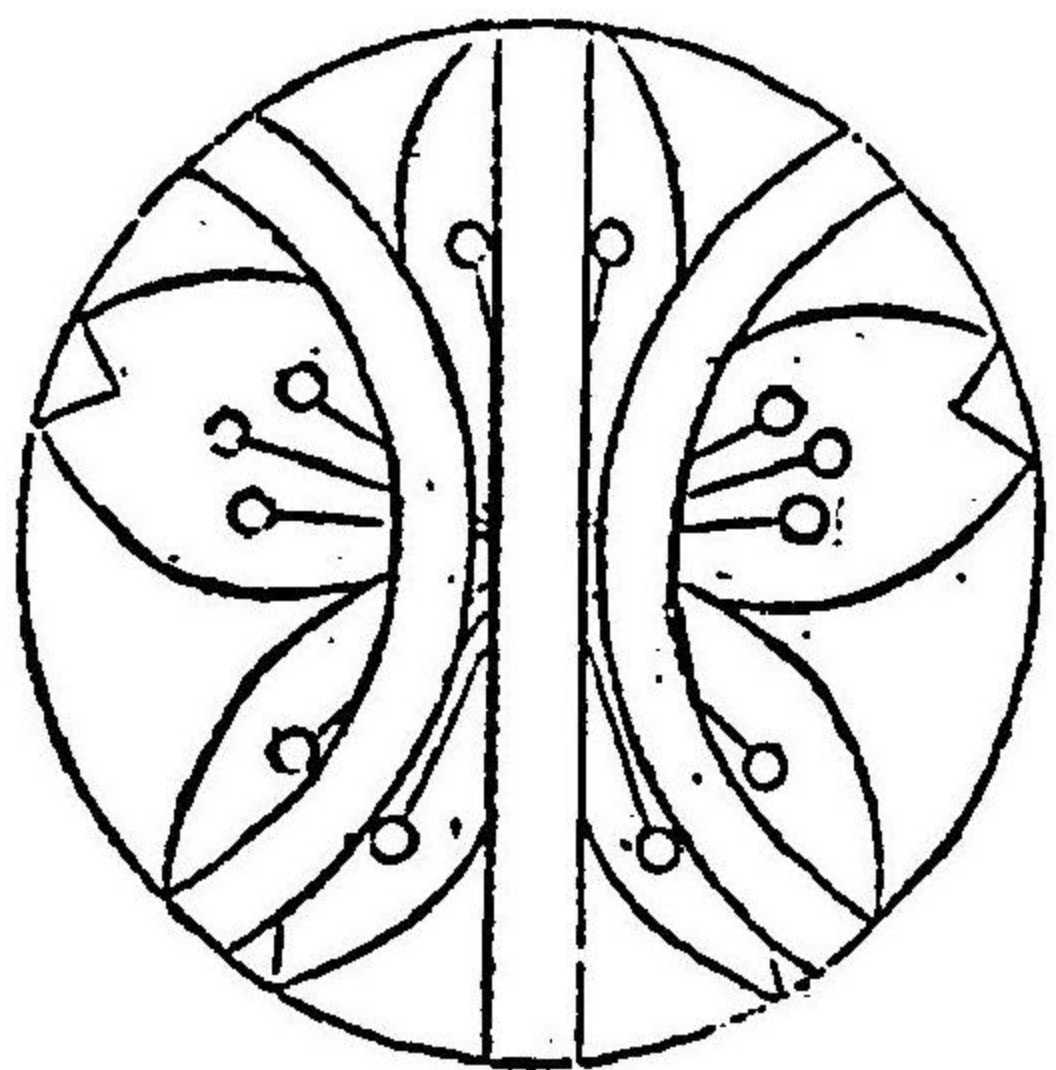
明治何年何月何日

何町何號地(何々會社何々丸船長)

何 某

水道管理者何某殿

給水使用者標識雛形  
(徑三寸金剛板製)



專用給水ハ 黃色  
貯蓄給水ハ 白色  
但取水ハ 綠色  
專用消火栓ハ 赤色

共用給水鑑札雛形

長三寸

五分

表

旅(大)第何號ノ何  
共用給水使用鑑札  
住所  
氏名

裏

旅順(大連)  
水道事務所

水道吏員證票雛形

長三寸

表

幅一寸

形状標圖

旅(大)第何號  
水道吏員證票

裏

旅順(大連)  
水道事務所

○關東都督府告示第二十九號(官報五月六日)  
明治四十年四月府令第二十一號旅順及大連水道給水規則同年府令第二十二號旅順電燈規則ニ關スル  
事務ハ當分ノ内左記ノ所ニ於テ取扱フ  
明治四十年四月二十一日  
關東都督男爵大島義昌

旅順水道事務所 旅順新市街陸軍經理部元水道班内  
旅順電氣作業所 旅順桃岡町陸軍經理部元電燈班内







一架設場所

右旅順電燈使用規則ニ依リ使用致度(別紙承諾書相添)此段請求候也

明治何年何月何日

旅順電燈管理者何某殿

臨時電燈使用請求書

一臨時電燈

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

明治四十年五月 告示 關東都府第三十六號

何町何番地

家屋(土地)所有者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何町何番地

請求者 何 某印

何町何番地

請求者 何 某

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇

何箇



旅順電燈管理者何某殿

電燈球交換請求書

一電燈球 何燭光 何箇  
右斷心滅光(破損)何月何日設置使用者ノ故意又ハ過失ニ因ラス自然斷心滅光(破損)致シ付交換相成度候也  
何町何番地

明治何年何月何日

使用者 何 某印

旅順電燈管理者何某殿

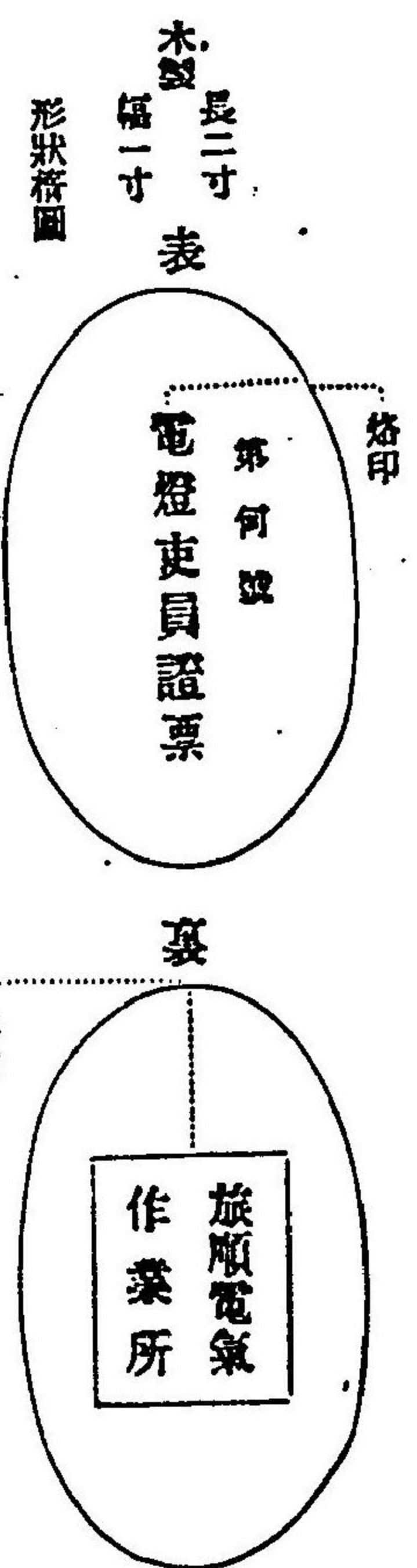
電燈位置(燭力)(用具)變更請求書

一電燈 何箇 何箇  
一電燈球 何箇 何箇  
一燭球(細木燭) 何尺延長何箇所  
一盤(陶製、金物製、裝飾用花形) 何箇  
一何 何箇  
右位置(燭力)(用具)變更相成度候也

明治何年何月何日

使用者 何 某印

旅順電燈管理者何某殿  
電燈吏員證書雛形



○關東都督府告示第二十七號(官報五月三十日)  
關東都督府郵便電信局及同支局所ニ於テハ毎日左ノ時間内郵便電執受附電話通話郵便爲替郵便貯金及郵便取立金ノ受拂事務ヲ取扱フ但シ韓國ニ對スル電話通話時間ハ左記開始及終了時間ヲ各一時間繰上ク

明治三十九年十月告示第二十號及明治四十年二月告示第九號ハ本月十五日限り之ヲ廢止ス  
關東都督府男爵大島義昌

郵便電報受附及電話通話時間

- 一三月一日ヨリ十月三十一日迄午前六時ヨリ午後十時ニ至ル
- 一十一月一日ヨリ翌年二月末日迄午前七時ヨリ午後十時ニ至ル
- 一軍事官報外國官報及至急電報ニ限リ時間外ト雖モ之ヲ受付ヲ爲ス
- 一郵便爲替郵便貯金及郵便取立金受拂事務取扱時間
- 一三月一日ヨリ七月十日迄午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
- 一七月十一日ヨリ九月十日迄午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル



九月十二日ヨリ十月三十一日迄午前八時ヨリ午後四時ニ至ル  
十一月一日ヨリ翌年二月末日迄午前九時ヨリ午後四時ニ至ル  
日曜日大祭祝日ニ於テハ正午十二時限トス

〔參照〕

明治三十九年十月四日告示第二十號及同四十年二月廿二日同第九號ハ關東都府府郵便電信局及同支局事務取扱時間ノ件ナリ

○内閣告示第二號  
北海道ニ種馬牧場ヲ設置シ其ノ名稱位置左ノ通定ム

明治四十年六月十九日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
名稱 日高種馬牧場  
位置 北海道日高國浦河郡西舍村

○外務省告示第十三號

帝國政府ハ大連ニ清國海關ヲ設置スルコトニ同意シ清國駐劄特命全權公使林權助ト同國總稅務司「サー、ロバート、ハート」トノ間ニ左ノ協約ヲ締結セシメ同海關ハ來ル七月一日ヨリ開關スルコトニ決定セリ

明治四十年六月十一日

外務大臣子爵林有造

日本國及清國政府ハ大連ニ清國海關ヲ設置スルコトヲ協定シタルヲ以テ下名ハ各本國政府ヨリ相當ノ委任ヲ受ケ茲ニ同海關ノ一般指導ノ爲豫備及確定ノ處置トシテ本書ニ添附スル左記ノ文書ニ開陳セル細項取極ヲ承認スルコトヲ約ス

(甲)大連海關設置ニ關スル協定  
(乙)内水汽船航行ニ關スル協定

本取極ハ一季間試ニ之ヲ實施シタル上明悉ニ至リ更ニ善ク土地ノ狀況及必要ニ應セシムル爲再考ヲ加ヘ茲ニ承認スル文書ニ代フルニ修正取極及命令ヲ以テスヘキコトヲ約ス該修正取極ハ日本國公使ト總稅務司トニ於テ之ヲ作成シ命令ハ租借地ノ日本國官憲ニ於テ大連海關長ト協議シ之ヲ作成スヘキモノトス又日本國官憲ハ租借地ヨリ清國ヘノ密輸入ヲ防遏スル處置ヲ採リ且清國官憲カ清國ヨリ租借地ニ密輸入ヲ防ク爲ニ探ル所ノ處置ニ就キ之ヲ援助スヘク又大連ノ鐵道終點及境界地停車場(瓦房店又ハ其ノ他)ニ於ケル鐵道運輸ヲ處理スル爲和當手續ヲ定メ並海關ノ徵稅ノ爲假



規則ヲ設クヘキモノトス

日本國特命全權公使 林 權 助  
清國總稅務司 サイロバート、ハート

千九百十七年五月三十日北京ニ於テ署名調印ス

(甲) 大連海關設置ニ關スル協定

- (一) 大連海關長ハ日本ノ國籍ヲ有スル者タルヘシ該海關長新任ノ場合ニハ總稅務司ハ在北京日本國公使館ト協商ヲ遂クヘシ
- (二) 大連海關ノ職員ハ通則トシテ日本ノ國籍ヲ有スルモノタルヘシ但シ俄ニ缺員ヲ生スルカ若ハ臨時必要アル場合ニハ假ニ他ノ國籍ニ屬スル職員ヲ大連ニ派遣スルコトヲ得
- (三) 大連海關長ノ更迭ハ豫メ總稅務司ヨリ關東都督ニ通告スヘシ
- (四) 大連海關ト日本國官憲及日本國商人トノ往復ハ總テ日本文ヲ以テスヘシ
- (五) 海路大連ニ輸入スル商品ニハ輸入稅ヲ課セス日本國租借地境界ヲ越テ清國內地ニ至ル各種ノ商品及產物ハ海關ニ於テ現行條約ニ從ヒ輸入稅ヲ課スヘシ日本國官憲ハ海關ノ許可證又ハ通關證ヲ有セサル商品ノ日本國租借地境界通過ヲ防遏スルニ就キ成ルヘク援助ヲ與フル爲適當ノ處置ヲ採ルヘキコトヲ承諾ス
- (六) 清國內地ヨリ日本國租借地ニ來リタル清國商品及產物ニシテ大連ヨリ他所ヘ船積セラルルモノキハ現行條約ニ依リ輸出稅ヲ納ムヘシ日本國租借地ノ產物及該產物ヨリ製造セル商品若ハ海路同租借地ヘ輸入セル商品ハ輸出稅ヲ納ムルヲ要セス日本國租借地内ニ於テ清國內地ヨリ來ル原料ヲ以テ製造シタル物品ニ對シテ納ムヘキ稅ハ膠州灣ニ於ケル獨逸國租借地ニ於テ同一事情ノ物品ニ對シ現ニ納ムルモノト同一ナルヘシ

(七) 清國ノ條約港ヨリ大連ヘ來ル清國商品若ハ產物ハ日本國租借地内ニ在ル限リ納稅ヲ要セスト雖モ右商品若ハ產物ニシテ日本國租借地境界ヲ越テ清國內地ニ入ル場合ニハ現行條約ニ從ヒ納稅スヘシ

(八) 大連ヨリ船積セラルレ隨テ輸出稅ヲ納ムタル清國商品ニハ領收證ヲ下付シ清國條約港ニ於テ陸揚ノ際右領收證ヲ差出シ現行條約ニ從ヒ沿岸貿易稅ヲ納ムヘシ

(九) 日本國及其ノ他清國以外ノ商品ニシテ清國ノ條約港ヨリ大連ヘ船積セラルル場合ニハ該條約港ニ於テ納メタル輸入稅ハ條約ノ規定ニ從ヒ拂戻ヲ受クヘシ右商品ハ大連ニ輸入セラルルモ日本國租借地ノ境界ヲ越テ清國內地ニ入ラサル限リ何等ノ納稅ヲ要セス又右商品ニシテ大連ヨリ清國以外ノ地ニ再輸出セラルトキハ輸出稅ヲ納ムルヲ要セス

(十) 清國ノ商品又ハ產物ニシテ清國條約港ヨリ大連ニ船積セラレ同所ヨリ更ニ清國以外ノ場所ヘ船積セラルルニ際シ右條約港ニ於ケル輸出稅納入濟ノ證據書類ヲ提出スルトキハ輸出稅ヲ納ムルヲ要セス

(十一) 大連海關ハ噸稅燈臺稅及港稅ノ徵收若ハ管理ニ干與セサルモノトス

(十二) 清國條約港ニ於ケル現行關稅率ハ大連海關ニ於テモ均シク之ヲ適用スヘシ

(十三) 日本國政府ハ大連ニ於テ該海關ノ爲共ノ事務所及職員宿舍建築用ニ供スル充分ノ地所(適當ノ庭園、厩並僕舍用共)ヲ備ヘ置クヘキコトニ同意ス

右地所賣渡若ハ賃渡ノ金額ハ同地ニ於テ雙方合意ヲ以テ定ムヘキモノトス

(十四) 稅關長及職員ハ陪審人若ハ陪席判事アリ又ハ共ノ他何等役ニ從事スルノ責任ナキモノトス

(十五) 前記大連海關ハ又大連ヨリ清國內地ニ輸出シ或同内地ヨリ大連ニ輸入スル商品ニ對シ通過免狀ノ發給ヲ專掌シ且同海關ハ清國ノ條約港ニ於テ謂ユル清國海關道ニ屬スル一切ノ職務ノ權



利又ハ資格ヲ有スルモノトス

(十六)第十五條ニ記載ノ通過免狀ニ對シテハ現行條約ニ依ル稅率即チ輸出稅若ハ輸入稅ノ半額ヲ大連海關ニ於テ徵收スヘシ

(十七)海關規則ニ對シ商人ノ行ヒタル詐偽又ハ犯則ノ場合ニ於ケル處分手續ハ今後別約ヲ以テ之ヲ定ムヘント雖モ大體ノ主義ニ於テ總テ司法上ノ手續ハ日本國法術ニ屬スヘキモノトス

(十八)日本國租借地ニ於ケル商業ノ發達ニ伴ヒ現ニ豫知スヘカラサル必要ノ生スルコトアルヘキヲ慮リ本協定ハ暫定ニ屬スルモノトシ當事者雙方ハ本協定實行上ニ生スルコトアルヘキ不便ヲ除クカ爲必要アル毎ニ修正ヲ提議スヘキコトヲ約ス

(乙)内水汽船航行ニ關スル協定

(一)清國海關ハ正式ニ大連ニ於テ其ノ職務ヲ執行スルコトヲ認可セラレタルヲ以テ内水汽航行免狀ヲ發給スルコトヲ得内水汽航行免狀ヲ受ケタル汽船ハ一艘ニ千八百九十八年七月並同年九月ノ規則及千九百二十年十月ノ追加規則ニ依ルヘキモノナリト雖モ尙特ニ左記ノ規定ニ遵スヘキモノトス

(二)内水汽ヲ往復セントスル汽船ハ内外國何レニ屬スルヲ問ハス其ノ船籍證書ヲ海關ニ寄託シ船書ヲ出シテ引換ニ内水汽航行免狀ヲ受クヘシ該免狀ハ一箇年間效力ヲ有スルモノニシテ其ノ初度發給ノ手数料ヲ十兩トシ爾後年々書換ノ都度二兩ヲ納メ噸稅ハ四箇月毎ニ納入スヘキモノトス

(三)右免狀ヲ得タル汽船ハ規定ニ從ヒ(一)大連ヨリ内地ノ一箇所若ハ數箇所ニ往復スルコト(二)大連ヨリ内地ニ赴キ更ニ條約港ニ至リ再内地ヲ經大連ニ歸航スルコトヲ得是等ノ汽船ハ地方ノ海關若ハ收稅所ニ成規ノ報告ヲ爲シ地方ノ關稅及諸稅ヲ納ムルトキハ總テ航行中ニ通過スル認可賣易場ニ於テ積荷若ハ乘客ヲ陸揚シ又ハ搭載スルコトヲ得但シ特別ノ許可ナクテ專ラ内地ノ各所間ノミヲ往復スルコトヲ得内地航行中他ノ條約港ニ寄航スルトキハ成規ニ從ヒ同地海關ニ

報告シ一般及同地ノ港則ハ總テ之ヲ遵守スヘキモノトス

(四)免許ヲ得タル汽船ハ大連發着ノ都度大連海關ニ出港手續又ハ入港ノ報告ヲ爲シ出入積荷目録ヲ交付シ寄港シタル場所又ハ寄港スヘキ場所ヲ報告シ規定ノ關稅ヲ納ムヘキモノトス阿片及禁制品ハ之ヲ輸入シ又ハ輸出スヘカラス若シ之ヲ輸入シ又ハ輸出シタルトキハ該物品ヲ沒收シ該汽船ニ對シ五百弗ノ罰金ヲ課ス再犯スルモノハ内水汽航行免狀及其ノ特權ヲ撤消スヘシ

(五)日本國官憲ハ大連海關ヲ援助シ密輸入殊ニ阿片及禁制品ノ密輸入ヲ禁止スヘシ

(六)大連及内地諸港間ニ於ケル清國閉關郵便物ノ遞送ハ無料タルヘシ日本國租借地以外ニ於ケル清國郵便局發着ノ清國閉關郵便物ニシテ同租借地ヲ經由スルモノノ遞送ニ關シテハ郵政廳ニ於テ適當ノ方法ヲ協定スヘシ

(七)内水汽船航行ニ關スル協定ハ日本國租借地以外ノ内水汽ニ往復スル汽船ニ限り適用セララルヘキモノトス

(參考)

膠州灣租借地ニ於ケル製造品ニ關スル規則抜萃

(甲) 總則

(一)租借地ノ產物及該產物ヨリ製造セル商品若ハ同地へ海路輸入セル商品ニ對シテハ輸出稅ヲ課セス未製原料ヨリ製造セル物品ハ其ノ原料ヲ海關ニ申告シ特別取扱ヲ受クルニアラサレハ普通物品ト同様ニ取扱ハルヘシ納稅ニ關シテハ製造場ノ自由區域内部ニアルト外部ニアルトヲ問ハス同様ニ取扱ハルヘシ

(二)租借地ニ於テ製造シタル物品ヲ内地ニ輸送セントスルトキハ製造者任意ニ該製造品ニ對シテ通過稅ヲ納メ通過免狀ヲ附シテ輸送スルコトヲ得

(三)背後地若ハ非條約港ヨリ租借地ニ輸入スル清國未製原料ヲ製造場ニ使用セントスルモノハ之



ヲ海關ニ申告シ其ノ税金ニ對シ擔保ヲ差入ルルコトヲ得右申告ニ係ル原料ヨリ製造セル物品ニシテ輸出セラルトキハ其ノ使用セル原料ニ對シ輸出税ヲ納メ右擔保ニ依リ保證セラレタル税金ハ夫レ丈ケ控除セラレヘシ

右擔保ニ依リ保證セラレタル税金ハ其ノ日附ヨリ三箇年以内ニ之ヲ納附シ又ハ精算スヘキモノトス

物品製造用ノ原料ニ對シ納税セシメテ輸出物品ニ對スル税率全額ヲ納税スルコトハ輸出者ノ任意タルヘシ海關ニ申告セシ且擔保ヲ供セサル原料ヨリ製造セル物品ヲ輸出スルトキハ海關通過ノ際輸出税全額ヲ納ムヘキモノトス

(四)外國若ハ清國條約港ヨリ到著ノ原料ニ課シタル輸入税又ハ沿岸貿易税ハ右原料ヨリ製造セル物品ヲ海路輸出スル際之ヲ拂戻スヘシ但シ右原料ハ輸入ノ際其ノ製造用ニ供セラルルコトヲ成規ノ通り海關ニ申告シタルモノニ限ル

(五)租借地ニ於テ製造セル製品ヲ清國へ海路輸送スルトキハ輸入ノ際税率全額ヲ納税スヘキモノトス又之ヲ内地ニ輸送スルトキハ通過税ヲ納メ通過免許ヲ受クルコトヲ得

(六)租借地官憲ト海關官憲トノ間ニ協商ヲ遂ケ諸種ノ製品輸出ノトキ其ノ使用原料ノ多寡ニ關シ一定ノ率ヲ立テ之ニ準シテ輸出税ヲ減額スヘキ取極ヲ爲スヘシ

(七)前記ノ取扱ヲ受クヘキ權利アル製造場ハ之ヲ登記シ其ノ目錄ハ必要ニ應シテ修正セ要アルトキハ海關へ送付スヘシ

(乙) 説明書

左記ノ事項ハ租借地到著ノ際膠州灣海關ニ於テ製造場ノ使用ニ供セラルルコトヲ成規ノ通り申告シ且必要ノ場合ニ納税金ニ對シ擔保ヲ差入レタル原料ニノミ適用セラルルモノトス

一、外國ヨリ直接若ハ條約港經由到著ノ外國產原料

(イ) 其ノ製造品外國へ輸出セラルトキハ

(一) 既納税金ヲ拂戻スヘキコト

(ロ) 其ノ製造品ヲ清國條約港ニ向ケ船積ノトキハ輸入ノ際納メタル税金拂戻ヲ受ケ左ノ税金ヲ納ムヘキコト

(二) 陸揚港ニ於テ外國ヨリ直接到著セル同様ノ商品ニ對シ規定セルト同一ノ税金及

(三) 爾後通過税ヲ納ムルトキハ内地輸送ノ際通過免許ヲ受ケ得ルコト

ハ若シ該製造品内地航行規則ニ從ヒ運輸セラルトキハ左記ノ税ヲ課セラルルコト

(四) 同様ノ商品カ同様ニ運輸セラルトキ其ノ出發ノ際若ハ途中及内地ニ於テ納ムヘキ諸税又ハ諸賦課金

(五) 然レトモ右物品ニシテ二分半ノ通過税ヲ納メ通過免狀ヲ有スルトキハ前記ノ内地税ヲ免カレ通過免狀ヲ受ケ得ルコト

(ニ) 右製造品陸路背後地ニ運搬セラルトキハ左ノ如ク取扱ハルルコト

(一) 内水航行規則ニ從ヒ輸送セラルル同様ノ物品通りナルヘキコト

二、清國條約港ヨリ到著ノ清國產原料

(ホ) 其ノ製造品外國へ輸出セラルトキハ

(七) 既納沿岸貿易税ヲ拂戻スヘキコト

(ハ) 其ノ製造品清國條約港へ仕向ケラルトキハ

(八) 右製造品ニ包含セル原料ニ對シ沿岸貿易税納済證ヲ下付シ其ノ陸揚條約港ニ到著ノ際納税ヲ免カレンメ爾後清國商品トシテ取扱ハレ内地通過權ヲ有セサルカ又ハ輸出者ノ任意ニテ

(九) 沿岸貿易税ヲ拂戻シ陸揚條約港ニ於テ該製造品ニ對スル輸入税全額ヲ納メ爾後内地輸送



ノ場合ニ通過權ヲ有スヘキコト

(十) 其ノ場合ニハ二分半ノ通過稅ヲ納メ通過免狀ヲ有スヘキコト

(ト) 該製造品内水航行規則ニ從ヒ膠州灣ヨリ輸送セララルトキハ

(十一) 同様ノ商品カ同様ニ運搬セララルトキ共ノ出發ノ際若ハ途中及内地ニ於テ納ムヘキ諸稅及諸賦課金ヲ課セラルルコト

(十二) 然レトモ右製造品ニシテ膠州灣ニ於テ二分半ノ通過稅ヲ納ムルトキハ前記ノ内地稅ヲ免カレ通過權ヲ有スルコト

(チ) 右製造品陸路膠州灣ヨリ背後地ヘ輸送セララルトキハ

(十三) 内水航行規則ニ從ヒ輸送セララルモノト同様ニ取扱ハルヘキコト

三、内水航行規則ニ依リ到着ノ清國產原料

(リ) 其ノ製造品外國ヘ輸出セララルトキハ膠州灣ニ於テ

(十四) 製造ニ使用セル原料ニ對シ輸出稅全額ヲ納ムルカ又ハ輸出者ノ任意ニテ

(十五) 製造品ニ對シ輸出稅全額ヲ納ムル共ノ數量ヲ擔保ヨリ控除スヘキコト

(又) 製造品清國條約港ニ仕向ケラルトキハ膠州灣ニ於テ

(十六) 使用原料ニ對シ稅率規定ノ全額ヲ納メ及陸揚港ニ於テ沿岸貿易稅ヲ納メ爾後清國商品トシテ取扱ハルルカ又ハ輸出者ノ任意ニテ

(十七) 製造品ニ對シ右ノ全額ヲ納ムヘキコト此ノ場合ニ於テハ免除證書ヲ發給シ到着港ニ於テ外國品トシテ自由通關ヲ得

(十八) 爾後二分半ノ稅ヲ拂フトキハ内地輸送ニ際シ通過權ヲ得ルコト

(ル) 製造品内水航行規則ニ依リ輸送セララルトキハ

(十九) 使用原料ニ對シ沿岸貿易稅ヲ納ムルカ又ハ製造者ノ任意ニテ

(二十) 製造品ニ對シ同稅ヲ納ム

(二十一) 同様ノ商品カ同様ニ運搬セララルトキ途中及内地ニ於テ課セラルヘキ諸稅及賦課金ヲ拂フヘキコト然レトモ右原料若ハ製造品ニ對シ前記ノ稅ヲ拂フタル後ハ

(二十二) 膠州灣ニ於テ製造品ニ對シ二分半ノ通過稅ヲ納ムルトキハ前記ノ内地稅ヲ免カレ通過權ヲ有スヘキコト

(フ) 製造品膠州灣ヨリ陸路背後地ニ輸送セララルトキハ

(二十三) 内水航行規則ニ依リ輸送ノモノト同様ノ取扱ヲ受クヘキコト

四、背後地ヨリ陸路到着ノ清國產原料

(リ) 其ノ製造品外國ニ輸出ノトキハ其ノ原料ヲ擔保ヨリ控除シ輸出者ハ膠州灣ニ於テ

(二十四) 使用原料ニ對シ輸出稅ノ全額ヲ納ムルカ或ハ輸出者ノ任意ニテ

(二十五) 製造品ニ對シ同全額ヲ納ムヘキコト

(カ) 該製造品清國條約港ニ仕向ケラルトキハ膠州灣ニ於テ

(二十六) 使用原料ニ對シ稅率規定ノ全額ヲ納メ陸揚港ニ於テ沿岸貿易稅ヲ拂ヒ爾後ハ清國商品トシテ取扱ハルルカ又ハ

(二十七) 製造品ニ對シ右全額ヲ納ムルコト此ノ場合ニ於テハ免除證書ヲ發給シ到着港ニ於テ外國商品トシテ自由通關ヲ得爾後

(二十八) 内地ニ輸送ノトキハ二分半ノ稅ヲ納メ通過權ヲ得ヘキコト

(ヨ) 製造品内水航行規則ニ依リ輸送セララルトキハ輸出者ノ任意ニテ膠州灣ニ於テ

(二十九) 使用原料ニ對シ沿岸貿易稅ヲ納ムルカ又ハ

(三十) 製造品ニ對シ同稅ヲ納メ爾後ハ通過證書ニヨリ保護セララルニアラサレハ同様ニ運搬セララル同様ノ商品ト均シク諸種ノ内地稅及賦課金ヲ課セラルヘキコト



(二十一) 該證書ハ通過權ヲ附與スルモノニシテ製造品ニ對シ更ニ二分半ノ通過稅ヲ納ムルト  
 キハ膠州灣ニ於テ同地海關ヨリ發給セララルヘキコト  
 (又) 前記ノ如ク申告セラレタル原料ニシテ原狀ノ儘若ハ製造品トシテ租借地ヨリ陸路背後地ニ檢  
 送セララルトキハ清國商品トシテ同國ニ再輸入セララルモノニシテ同様ニ運搬セララル同標  
 ノ商品ト均シク同一ノ諸稅及賦課金ヲ課セララルヘキコト

○外務省告示第十四號

移民保護法第三條ニ依リ移民ヲシテ保證人ヲ定メシムヘキ地ヲ左ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施  
 行ス

- 明治四十年六月十一日
- |         |            |         |
|---------|------------|---------|
| 一 比律賓群島 | 一 澳洲及太平洋諸島 | 一 暹羅國   |
| 一 伯刺西爾國 | 一 智利國      | 一 祕露國   |
| 一 亞弗利加洲 |            | 一 亞爾然丁國 |
- 外務大臣子爵林董

明治三十六年外務省告示第六號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕

明治三十六年三月外務省告示第六號ハ本號ト同伴ナリ

○外務省告示第十五號

移民保護法第二十條ノニ依リ命令ヲ以テ定メシムヘキ地ヲ左ノ通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス  
 明治四十年六月十一日

- |       |         |         |
|-------|---------|---------|
| 一米領布哇 | 一 墨西哥國  | 一 伯刺西爾國 |
| 一 祕露國 | 一 亞爾然丁國 | 一 智利國   |
- 外務大臣子爵林董

○外務省告示第十六號

明治四十年六月九日野村貿易事務官在ハマロフスク國有財產廳長官ブラジニコフトノ間ニ協定  
 セル事項左ノ如シ

明治四十年六月十一日

外務大臣子爵林董

協定事項

- 一 競賣ハ口頭ヲ以テ舉行スルコト
- 二 競賣ニ參加願書ノ提出ヲ要セサルコト
- 三 日本臣民ハ貿易事務官ノ證明ヲ以テ競賣ニ參加スルコト
- 四 競賣ニハ貿易事務官參列スルコト
- 五 本年ノ區域表ニハ昨年發布セル區域表ノ漁區ニ本邦人ヨリ新ニ願出タルモノヲ併セ掲グルコト  
 但シ日露間ノ協定ニ抵觸スルモノヲ除ク
- 六 漁船ヲ河中ニ入ル、コトヲ得ス
- 七 昨年區域表ニ掲記シ徵收セル漁業監督費ハ本年徵收セサルコト
- 八 附帶ノ諸稅ハ浦潮斯德ニ於テ納付スルコト
- 九 本年ハ日露協定事項ニ抵觸スヘキ廉ヲ除キ其他ハ現行規則ニ準スルコト

○外務省告示第十七號

明治四十年二月九日日清兩國委員ノ間ニ協定シタル左記漢口日本擴張居留地取極書ハ兩國委員ニ  
 於テ該取極書第三條末項ニ依リ各上官ノ承認ヲ經六月十三日雙方捺印ノ上確定セリ

明治四十年六月十七日

外務大臣子爵林董

漢口日本擴張居留地取極書

大日本帝國漢口在勸領事水野幸吉ト大清國漢口海關道桑寶ハ漢口ニ於ケル大日本居留地擴張ノ爲



メ土地永代借用ノ事ニ關シ左ノ條款ヲ議定ス

第一條 日本ノ擴張居留地ハ原定ノ居留地ノ境界ヨリ北ニ向ヒ沿江登百五十丈トス其東界及西界ハ原定居留地ノ境界線ヲ延長シタルモノトス

第二條 日本居留地内ニ從來清國商人ノ開設セル鑛山公司鑛寸工場ハ引續キ居留地内ニテ營業シ得可キモ日本居留地規則ヲ遵奉シ賦稅金ヲ負擔スルコトハ日本臣民ト一様タル可ク日本政府ノ該工場ニ對スル待遇モ亦日本臣民ト異ナル處ナカル可シ尙將來ノ處置ニ關シテハ現在ノ「スマンタートライルコンパニー」石油倉庫ニ準ス可シ

但シ此ノ規定ハ清國人ノ營業ヲ保護スル爲メナレハ將來若シ鑛山公司鑛寸工場カ名實何レニモセヨ清國人ノ手ヲ離レタルトキハ清國ノ官員ハ一切干涉保護ス可キ限リニアラス

第三條 此度ノ居留地擴張取極ニ就テハ湖廣總督ヨリ漢口道臺ニ命シ日本領事ト合同シ委員ヲ派シテ境界ヲ査定シ界標ヲ建立ス可シ

其他ノ條項ハ原定取極書ノ通り施行處置ス可シ

以上ノ擴張取極ニ因リ茲ニ日本又漢文各武通ヲ作り相互ニ署名シ兩國上官ノ承認ヲ俟ンテ捺印ノ上證據トス可シ

大日本明治四十年二月九日  
大清國光緒三十二年十二月二十七日

大日本在勸漢口領事 水野幸吉 奉押  
大清國漢口海關道 桑 寶 奉押

○内務省告示第七十號  
一 國定實務用書式示教圖ノ内國庫債券(百圓)ノ模圖 一葉  
神戶市兵隊江川町三十五番地平野吉發行

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年六月三日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ  
明治四十年六月四日 内務大臣原敬

○内務省告示第七十一號  
一 春畫(包紙ニ博覽會土產ト記シタルモノ) 十二枚一組 發行者未詳  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年六月十一日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ  
明治四十年六月十二日 内務大臣原敬

○内務省告示第七十二號  
一 國定實務用示教圖一軸ノ内國庫債券(百圓)ノ模圖 一葉  
兵庫縣鹽埕市中二階町二十八番地西村房發行  
右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年六月十一日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ  
明治四十年六月十二日 内務大臣原敬

○内務省告示第七十三號  
一 夫婦夜の樂 一册  
一 美人の秘密十法 一册  
大阪市南區松屋町三十九番地榎本松之助發行  
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年六月十八日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ  
明治四十年六月十九日 内務大臣原敬







撤幣 其ノ儀撤儀ニ同シ

四 祝詞奏上

地方長官祝詞奏上 先ツ後取軾ヲ所定ノ座ニ鋪キテ復座次ニ屬祝詞ヲ捧持シ長官ノ座側ニ就キテ之ヲ進ム長官受ケテ笏ニ持テ添フ屬復座次ニ長官祝詞座ニ著キ再拜祝詞ヲ懷中ニ笏ヲ置キテ拍手ニ祝詞ヲ取り出シ左側ニテ徐ニ開キ之ヲ押シ合セテ一揖シ目通ニ捧ケテ奏上ス此間一畢リテ又押シ合セテ一揖シ左側ニテ徐ニ卷キ納メ懷中ニテ拍手ニ笏ヲ把リ祝詞ヲ持テ添ヘテ再拜畢リテ復座次ニ屬長官ノ座側ニ就キ祝詞ヲ受ケテ復座次ニ後取軾ヲ撤ス

五 玉串奉奠

地方長官(又ハ次官)玉串奉奠 先ツ後取資薦ヲ鋪キ玉串案ヲ設ケ軾ヲ鋪キテ復座次ニ屬玉串ヲ執リ長官(又ハ次官)ノ座側ニ就キテ之ヲ進ム長官(又ハ次官)受ケテ案上ニ奠シ玉串ハ案上ニニ拜座ニ著キテ再拜拍手ニ畢リテ復座

齋主玉串奉奠 其ノ儀地方長官(又ハ次官)玉串奉奠ニ同シ

諸屬拜禮畢リタル時ハ後取軾玉串案及資薦ヲ撤ス

六 修祓

先ツ所役案前ニ進ミ祝詞ニ受取及案上ニ進ミ祝詞ヲ讀ミ祝詞讀上ノ畢リテ大麻ヲ執リテ被ヲ受クヘキモノノ前ニ進ミ之ヲ被ヒ祝詞ヲ受クル者ハ平伏 畢リテ大麻ヲ案上ニ置キテ復座

七 大祓切麻

先ツ所役案前ニ進ミ切麻ノ三方案上ヲ捧持シテ參列者ノ前ニ据ウ次ニ參列者各自ニ切麻ヲ執リテ被ヲ畢リテ所役三方案上ニ置キテ復座

第二編 作法

上

一 座法

兩足ノ拇指ヲ重ネ少シク膝ヲ開キ左右ノ手先ヲ腰前ニ控ヘ體ヲ垂直ニシテ正面スルヲイフ

二 立法

兩足ノ踵ヲ接ケ少シク爪先ヲ開キ左右ノ手先ヲ下腹ノ邊ニ控ヘ體ヲ垂直ニシテ正面スルヲイフ

三 座揖

座シタルマ、正笏シテ笏ノ下方ヲ腹部ニ引クト共ニ腰ヲ折ルヲイフ

四 立揖

立チタルマ、正笏シテ笏ノ下方ヲ腹部ニ引クト共ニ腰ヲ折ルヲイフ

○揖ニ深揖、小揖ノ別アリ腰ヲ折ルコトノ淺深ニ依ル

揖ハ座ノ起著列ノ離就階段ノ昇降、殿舎及神門ノ出入、物品ノ授受、参前ノ進退、行事ノ前後、皆ノ著脱等ニ行フ所作ナリ

神饌獻撤、祝詞奏上ノ前後及御鑰ヲ捧持セル時等ニアリテハ正笏セサルコトアルヘシ

五 起拜

右膝ヨリ立チ左足ヲ進メ兩足ヲ踏ミ並ヘテ體ヲ正シ正笏シテ笏頭ヲ目通ニ上ケ左膝ヲ伏セテ

右膝ヲ伏セテ俛伏スルヲイフ

六 居拜

座シタルマ、正笏シテ笏頭ヲ目通ニ上ケ正座シテ俛伏スルヲイフ

七 立拜

立チタルマ、兩足ヲ踏ミ並ヘ體ヲ正シテ正笏シテ笏頭ヲ目通ニ上ケ腰ヲ屈折スルヲイフ



八 拍手

両手ヲ合セ靜ニ左右ニ開キテ拍チ合スルヲイフ座セル時ハ儀笏ヲ立テル時ハ儀笏ヲ行フモノトス

九 起座

先ツ兩足ヲ爪立テ次ニ右膝ヲ起シテ立チナカラ左足ヲ進メテ右足ニ踏ミ整ヘ或ハ右足ヲ引キテ左足ニ踏ミ整フルヲイフ

進ム起座ハ左足ヲ進ムル方ニ依リ退ク起座ハ右足ヲ引ク方ニ依ルモノトス

十 著座

先ツ左膝ヲ突キ次ニ右膝ヲ突キ整ヘテ座スルヲイフ

進ム著座ハ左膝ヲ前方ニ突キテ右膝ヲ突キ整ヘ退ク著座ハ左足ヲ引キテ膝ヲ突キ右膝ヲ突キ整フルモノトス

座前ヨリ著座スル時ハ先ツ左膝ヲ突キ回轉シテ座スルモノトス

座後ヨリ著座スル時ハ先ツ左膝ヲ突キ膝ヲ行シテ座スルモノトス

十一 進退

進ム時ハ左足ヨリ退ク時ハ右足ヨリス

十二 膝行

膝ニテ進ムヲイフ先ツ跪キテ左膝ヲ進メ次ニ右膝ヲ進メ又左膝ヲ進メテ右膝ヲ突キ整フルモノトス

席ニ上下ノ別アル時ハ下座ノ膝ヨリス

十三 膝退

膝行ノ反對ニシテ右左右ト退クヲイフ

席ニ上下ノ別アル時ハ上座ノ膝ヨリス

○膝行膝退ハ尊前ノ進退神饌獻撤ノ時等ニ行フ所作ナリ其ノ程度凡ソ三步トス

十四 平伏

正笏シテ背ヲ平ニ俯伏スルヲイフ開扉祝詞奏上渡御御幣物通過受取等ノ時ニ行フ所作ナリ

十五 跪居

兩膝ヲ突キ爪先ヲ立テ踵ノ上ニ膝ヲ置クヲイフ殿上ニテ應對授受及薦案獻等ヲ鋪設スル時ニ行フ所作ナリ

十六 蹲踞

兩膝ヲ折り蹲マルヲイフ神前ニ近キ所ヲ横キル時又庭上ニテ殿上ノ跪居ト同シキ時等ニ行フ所作ナリ

十七 起立

兩足ヲ踏ミ整ヘテ立ツヲイフ立禮ニテ應對授受等ノ時ニ行フ所作ナリ

十八 磬折

立チタルマ、正笏シテ腰ヲ折ルヲイフ座禮ノ平伏ト同シキ時ニ行フ所作ナリ

十九 屈行

腰ヲ折リテ歩行スルヲイフ立禮ニテ神前ヲ横キル時等ニ行フ所作ナリ其ノ程度凡ソ三步トス

二十 逆行

右足ヨリ右左右ト後歩スルヲイフ尊前ヲ退ク時ニ行フ所作ナリ其ノ程度凡ソ三步トス



席ニ上下ノ別アル時ハ上座ノ足ヨリス

二十一 持笏

右手ニテ笏ノ下方ヲ姆指ト小指トヲ内ニシテ右方ニ持ツヲイフ

二十二 置笏

笏ヲ右手ヨリ左手ニ移シ更ニ右手ニテ笏頭ヲ把リ右膝ノ傍ニ置クヲイフ

二十三 把笏

右手ニテ笏頭ヲ把リ左手ニ移シ更ニ右手ニテ笏ノ下方ヲ把リ右方ニ把持スルヲイフ

二十四 懷笏

笏ヲ右手ヨリ左手ニ移シ更ニ右手ニテ笏頭ヲ把リ懷中スルヲイフ行事ノ時及立禮ニテ拍手スル時等ニ行フ所作ナリ

二十五 正笏

左右ノ手ニテ笏ノ下方ヲ把リ腹部ノ正前ニテ正シク持チ身軀ヲ整フルヲイフ拜、揖等ノ時ニ行フ所作ナリ

二十六 警蹕

をトイフ音ヲ長ク引キテ唱フルヲイフ開扉及渡御等ノ時ニ行フ所作ナリ

下

一 階ノ昇降

一 神前ノ左方ヨリ昇ルモノハ右足ヨリシ右方ヨリ昇ルモノハ左足ヨリス

一 神前ノ左方ヨリ降ルモノハ左足ヨリシ右方ヨリ降ルモノハ右足ヨリス

一 昇降ハ一階毎ニ足ヲ聚ムヘシ

二 御扉ノ開閉

一 開扉ハ左手ニテ雄扉ノ端ノ上部ヲ持チ右手ニテ其ノ下部ヲ持チテ開キ雌扉ノ方ニ移リ右手ヲ上ニシテ左手ヲ下ニシテ閉ク

一 閉扉ハ雌扉ニハ左手ヲ上ニシテ雄扉ニハ右手ヲ上ニス

三 祝詞ノ展卷

祝詞ヲ展フルニハ左手ニ卷ヲ持チ右手ニ折端ヲ持チ左側ニテ展フ之ヲ卷クモ亦左側ニ於テス

四 御鑰祝詞玉串、大麻等ノ持方

一 御鑰祝詞玉串、大麻等ハ左手ニテ上部ヲ右手ニテ下部ヲ執リ左高ニ捧持シ祝詞ハ折端ヲ内ニ授クル時ハ總ヘテ反對ニ持チ換フヘシ

一 玉串ヲ奉奠スルニハ左手ヲ右手ノ元ニ下シ木ヲ神前ニ向ケ共ノ中程ヲ裏ヨリ右手ニテ持チ左手ヲ添ヘテ案上ニ置クヘシ

一 御鑰等ノ授受ハ上位ノ人ニハ下位ノ人ノ持テル所ヨリ左右各共ノ上邊ヲ下位ノ人ニハ上位ノ人ノ持テル所ヨリ左右各共ノ下邊ヲ執ラシムヘシ

一 授受ニハ總ヘテ懷笏スヘシ但シ齋主祝詞ヲ受クル時ハ之ヲ笏ニ受ケ授ケル時ハ笏ニ添ヘテ授クヘシ

五 三方案、齋職等ノ持方

一 三方ハ姆指ヲ左右ノ縁ニ他ノ指ヲ縁ト隔トニ掛ケテ持ツヘシ隅角ヲ避

一 折敷高坏ハ右手ニテ高坏ヲ持チ左手ヲ折敷ニ添ヘテ持ツヘシ塗高坏モ亦之ニ準ス

一 案ハ左手ニテ裏ヲ支ヘ右手ヲ右方ノ脚ノ附根ニ掛ケテ持ツヘシ但シ案小ナル時ハ兩手ヲ左右ノ脚ノ附根ニ掛ケテ持ツヘシ

一 齋職等ハ右手ニテ端ヲ執リ左手ニテ中程ヲ支ヘ左ヲ少シク高ク上ケテ斜メニ持ツヘシ但シ齋職



ハ右前ニ卷キ執ハ右前三折ニ疊ム又之ヲ舒フルトキ右端ヲ取ルニハ左手ヲ中程ニ右手ヲ下部ニ左端ヲ取ルニハ右手ヲ中程ニ左手ヲ下部ニ配スヘシ收ムルトキハ之ニ反ス

一三方高坏案等ハ目通ニ捧持スヘシ膳執等ハ之ニ及ハス

六 大麻切麻ノ祓方

一大麻ニテ祓フトキハ祓ヲ受クヘキ者ノ前ニ進ミ之ヲ持テ換ヘテ左右手上下正前ニ捧ケ左右左ト振リ畢リテ又之ヲ持テ換フヘシ

一切麻ハ左手ヲ三方ノ左方ニ掛ケ右手ニテ切麻ヲ執リ左右左ト祓フヘシ

七 折敷三方等ノ据方

一折敷又ハ三方等ハ縁ノ綴目ナキ方ヲ神前ニ向ク

一神饌ヲ案上ニ奉奠スルトキ調理セサル魚鳥等首尾アルモノヲ正中若クハ右方ニ供スルニハ左頭トシ左方ニ供スルニハ右頭トス

第三編 雜職

一 祭場ノ座位

一正中ヲ上位トシ左ヲ次トシ右ヲ共ノ次トス

一神前ニ近キヲ上位トシ遠キヲ下位トス

二 神饌獻敷ノ順序

一獻饌ノ順序ハ一和糖二酒三餅四海魚五川魚六野鳥七水鳥八海菜九野菜十菓十一木鹽トシ撤饌ノ時ハ最終ノ供饌ヨリス

一神饌ノ盛敷奇數ナルトキハ先ツ正中次ニ左方次ニ右方トレ偶數ナルトキハ先ツ左方次ニ右方ノ順序ヲ以テ奉奠ス

○大藏省告示第百四號

明治四十年七月一日ヨリ同月三十一日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治四十年六月一日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨
清 國 兩	上海一兩 四四七
	天津一兩 五〇三
	漢口一兩 四八二
墨 西 哥 弗 銀	一ドルヲル 〇七一
英 吉 利 弗 銀	一ドルヲル 〇五六
香 港 弗 銀	一ドルヲル 〇五六
英 領 印 度 貨	一ルービー 六六〇
暹 羅 貨	一チカル 七二二

○大藏省告示第百五號

全額拂込済ニ係ル國庫假債券ニシテ滅失又ハ紛失シタルモノノ額面金額種類枚數記號及番號等左ノ如シ

明治四十年六月一日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎



額面種類	枚數	記號	番	號	拂込金額	印	名	署
五拾圓	一	一	一	一	四八五五	第八回マテ	黒木	嘉市
貳拾五圓	一	同	同	同	四二五九五	同	平木	唯吉
同	一	同	同	同	六三三三三	同	猪野	金助

○大藏省告示第百六號

無記名軍事公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年記號及番號等左ノ如シ

明治四十年六月七日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

額面種類	枚數	發行年	記號	番	號	附屬利札	紛失屆出年月日
五拾圓	一	明治三十八年	一	一	三三〇五	明治三十八年六月六日	明治三十四年五月六日

○大藏省告示第百七號

明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法及明治三十九年法律第一號ニ依リ發行スル大日本帝國政府五分利公債證書ノ内本年五月中日本銀行へ交付シタルモノ左ノ如シ

明治四十年六月八日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

明治三十八年發行

一大日本帝國政府五分利公債證書額面貳千八百圓

但明治三十九年三月渡以降利札附屬  
右家祿賞典祿處分法施行法ニ依ルモノ

明治三十九年發行

一大日本帝國政府五分利公債證書額面參百五拾圓

但明治三十九年十二月渡以降利札附屬

右明治三十九年法律第一號ニ依ルモノ

○大藏省告示第百八號

本年七月一日ヨリ三十九年十月大藏省告示第八百六十九號中「コルサコフ」一欄ヲ削リ更ニ小樽本金庫所屬樺太支金庫ヲ樺太島「コルサコフ」ニ設置ス

明治四十年六月十日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

○大藏省告示第百九號

製造煙草定價左ノ通相定ム

明治四十年六月十八日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

種類及製造所	名	一包裝	百本ニ對スル定價
紙巻煙草 Cigarettes 埃及シモン・ア・シモン Azil, Egypt.	シモン・ア・シモン	一百本入	ニ・〇〇
紙巻煙草 Cigarettes 七十號シモン・ア・シモン Azil, No. 70	七十號シモン・ア・シモン	一百本入	ニ・〇〇

○大藏省告示第百十號

明治三十九年四月大藏省告示第四百六十六號消滅ニ係ル國庫債券ノ番號及附屬利札ノ渡期ハ屆書ニ誤記アリタル旨ヲ以テ訂正方本人ヨリ申出ニ付左ノ通更正ス

明治四十年六月十九日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

一番號一五八四八六番

一附屬利札明治三十八年十二月渡以降



○大藏省告示第百一十一號

明治十七年九月第二十四號布告大藏省證券條例ニ依リ割引ノ方法ヲ以テ本月二十一日大藏省證券ヲ發行セリ其發行額仕拂期日額面金額種類枚數記號及番號左ノ如シ

明治四十年六月二十二日

一大藏省證券額面貳千萬圓

此證券二千八百十枚 大藏大臣法學博士阪谷芳郎

仕拂期日 明治四十年九月二十五日

内

拾萬圓券 券號

自五〇〇番 至五九〇番

六十枚

壹萬圓券 券號

自九四〇番 至九四九〇番

千二百五十枚

千圓券 券號

自八〇〇番 至八〇〇〇番

千五百枚

○大藏省告示第百一十二號

無記名軍事公債證券紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年記號及番號等左ノ如シ

明治四十年六月二十五日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

額面金額	枚數	發行年	記號	番號	附屬利札	紛失届出年月日
百圓	一	明治二十八年	〇	一〇八五三	明治三十四年六月六日	明治三十四年五月六日
同	一	同	〇	二三五	同	同
同	一	明治三十年	同	同	同	同

○大藏省告示第百一十三號

明治十七年九月第二十四號布告大藏省證券條例及明治三十八年法律第十七號ニ依リ割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日大藏省證券ヲ發行セリ其發行額仕拂期日額面金額種類枚數記號及番號左ノ如シ

明治四十年六月二十六日

大藏大臣法學博士阪谷芳郎

一大藏省證券額面千五百萬圓

但明治十七年第二十四號布告ニ依ル分

仕拂期日 明治四十年九月二十七日

内

拾萬圓券 券號

自五〇〇番 至五九〇番

五十枚

壹萬圓券 券號

自九四〇番 至九四九〇番

千枚

一大藏省證券額面百萬圓

但明治三十八年法律第十七號ニ依ル分

仕拂期日 明治四十年九月二十七日

内

千圓券 券號

自五〇〇番 至五九〇番

千枚

○大藏省告示第百一十四號

東京稅務監督局管内千葉稅務署ヲ明治四十年六月二十七日千葉縣千葉郡千葉町大字千葉千十一番地ノ一ハ移ス

明治四十年六月二十六日

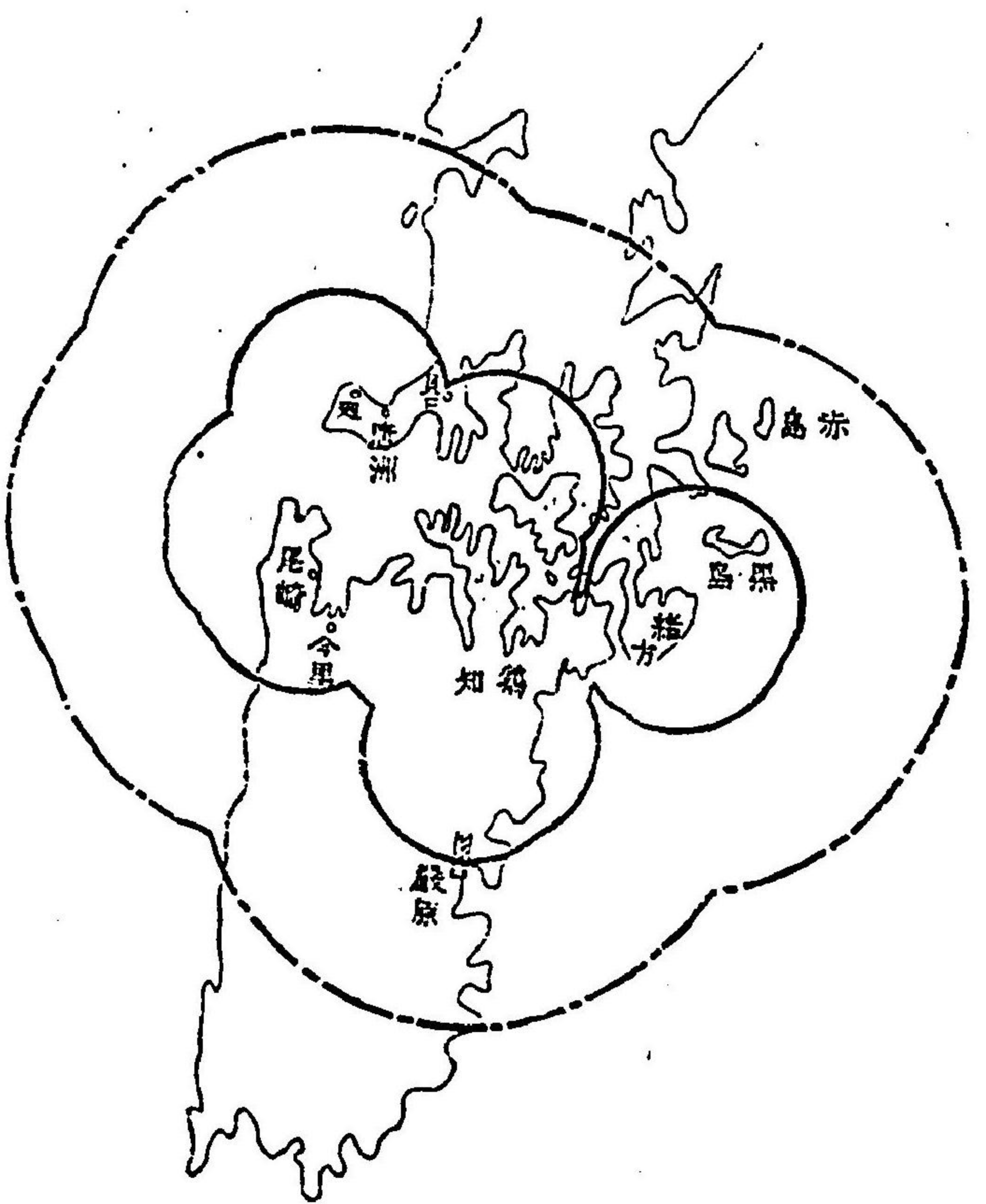
大藏大臣法學博士阪谷芳郎







對馬防備地



○陸軍省告示第十一號

明治三十六年五月陸軍省告示第八號附表中左ノ通改ム

明治四十年六月五日

陸軍大臣寺內正毅

- 一 對馬ノ欄第九條中漁獵採藻ノ縱畫中「緒方村」ノ下ニ「尾崎村今里村廻村」ヲ加フ
- 二 同第十五條ニ掲グル事項ノ縱畫中「貝口村唐洲村廻村尾崎村」ヲ削ル

○陸軍省告示第十二號

明治三十六年三月陸軍省告示第三號陸軍軍人軍屬鐵道乘車並物品輸送手續中乘車證ノ様式ヲ左ノ通改正シ來ル八月一日ヨリ之ヲ實施ス

但從來ノ乘車證ハ七月三十一日限り無効トス

明治四十年六月十日

陸軍大臣寺內正毅



表  
(行旅乗取)

分五寸三

第一號 陸軍 鐵道乘車證 至從世保 之印

陸軍 鐵道乘車證 至從世保 之印

明治何年何月何日 部隊名 之印

本證券使用期限ハ記載ノ日ヨリ何日間トス

「二等」 官 氏 名 何年何月 何人 何題 何箇所

「到達地」 何人 何題 何箇所

「物品」 何箇所

「内ハ赤字トナシ必要ニ應ジ記入スルモノトス

用紙ノ子紙 二寸五分

表 (品物送致隊部)

第一號 陸軍 鐵道乘車證 至從世保 之印

陸軍 鐵道乘車證 至從世保 之印

明治何年何月何日 部隊名 之印

本證券使用期限ハ記載ノ日ヨリ何日間トス

「陸送部隊名」 陸送部隊 之印

「物品」 何箇所

(運積貨物ニ付送スルハ) 何箇所

「右物品ハ其會社ラシテ代理權送セシム







○陸軍省告示第十三號

滿洲及韓國ニ在テ服務スル陸軍軍人軍屬及雇員傭人等ニシテ匪徒襲撃其他危險ノ業務ニ從事シ傷  
痕ヲ受ケ死歿シタル者ノ遺族ニハ當分ノ内一時賜金ヲ賜與ス但シ特別賜金ヲ受クルモノハ此ノ限  
ニ在ラス  
前項ノ賜與手續ニ關シテハ明治二十七年六月陸軍省告示第十九號ヲ準用ス

明治四十年六月十日

陸軍大臣寺內正毅

○海軍省告示第七號

海軍中少主計十五名採用候補本年七月ニ於テ年齡二十年以上三十二年未満明治八年八月ヨリ同ニ  
ニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例ニ依リ本年六月三十日迄ニ海軍省人事局長ニ出願ス  
ヘシ  
海軍高等武官補充條例中少主計採用願書式ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局ニ申出  
ヘシ

明治四十年六月五日

海軍大臣齋藤實

○司法省告示第二十八號

福岡地方裁判所管内小倉區裁判所廢屋出張所本年五月十四日火災ニ罹リ同出張所ニ備ヘアリシ左  
記ノ帳簿及ヒ書類焼失シタリ  
燒失シタル登記簿若クハ共同人名簿ニ登記ヲ受ケタル者又ハ同出張所ニ對シ登記ニ關スル通知若  
クハ囑託ヲ爲シタル官廳若クハ公署ハ本年十月三十一日マテニ登記回復ノ申請ヲ爲シ又ハ通知若  
クハ囑託ヲ爲スヘシ  
前項ニ定メタル期間内ニ不動產又ハ船舶ニ關スル登記ノ回復ヲ申請シ又ハ囑託スルトキハ登記レ

タル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ  
同出張所ノ管轄ニ屬スル敷人共有ノ土地建物又ハ船舶ニ關シ明治三十二年六月十五日以前ニ登  
記ヲ受ケタル者ハ本年十月三十一日マテニ登記簿又ハ土地建物ノ原本(共有ノ土地)ヲ添附シテ  
共有者連名書ヲ同出張所ニ差出スヘシ  
同出張所ノ管轄ニ屬スル建物ニ關シ登記ヲ受ケ圖面ヲ差出シタル者ハ本年十月三十一日マテニ更  
ニ之ヲ同出張所ニ差出スヘシ  
同出張所ニ印鑑ヲ差出シタル者ハ更ニ之ヲ差出スヘシ

明治四十年六月四日

司法大臣松田正久

燒失シタル帳簿及ヒ書類

- 一 遠賀郡島門村大字今古賀地所登記簿 第七四册
- 一 同郡同村同大字地所登記簿 第八册
- 一 同郡同村同大字地所登記簿 第五册
- 一 遠賀郡岡縣村大字内洲土地登記簿 第十七册
- 一 遠賀郡島門村大字今古賀土地登記簿 第十七册
- 一 舊船船登記簿 全
- 一 共同人名簿 全
- 一 共有者連名簿 全
- 一 圖面發送帳 全
- 一 印鑑簿 全
- 一 寄公簿 全
- 一 其他登記ニ關スル帳簿及ヒ書類 全

○司法省告示第二十九號

福岡地方裁判所管内小倉區裁判所廢屋出張所本年五月十四日火災ニ罹リ確定日附簿燒失シタルニ  
付キ同出張所ニ於テ確定日附ヲ附シタル私譽證書ヲ所持スル者ハ本年十月三十一日マテニ其證書



ヲ同出張所ニ差出スヘシ

明治四十年六月四日

○司法省告示第四十號

奈良縣吉野郡野迫川村戸籍役場備附ノ戸籍簿ノ一部滅失シタリ

明治四十年六月七日

○司法省告示第四十一號

宇都宮地方裁判所管内宇都宮區裁判所應沼出張所ニ備ヘアリシ別記ノ商業及不動産登記申請書滅失シタリ

明治四十年六月十八日

(別記)

滅失シタル商業登記申請書

申請書受附ノ年月日	受附番號	登記ノ目的	申請人ノ氏名
明治三十一年十一月二日	四六	株式會社資本金拂込	申請人ノ氏名
同三十二年八月三十一日	一八	合資會社役員變更	株式會社應沼銀行
同年八月八日	一八	増株ニ付新株ニ對スル拂込	合資會社押原肥料販賣所
同年八月九日	一四	株式會社事項變更	株式會社應沼商業銀行
同年九月二十八日	一五	株式會社設立	同
同年十一月一日	三七	株式會社資本金拂込	頭取 渡邊 藤太郎
同年十二月二十六日	三七	株式會社設立登記申請	株式會社 藤原 銀行
同三十三年一月十六日	四四	株式會社登記事項變更	取替役 藤本 健太郎
同年二月五日	一〇	株式會社設立ノ登記	取替役 藤田 正太郎
同年十二月三日	六八	株式會社資本金拂込登記	大 橋 正太郎

司法大臣松田正久

司法大臣松田正久

司法大臣松田正久

滅失シタル不動産登記申請書

申請書受附ノ年月日	受附番號	登記ノ目的	申請人ノ氏名
明治三十三年五月二十二日	三七二	土地	申請人ノ氏名
同年同月同日	三七三	土地	北村 平一
同年同月同日	三七四	土地	川谷 實
同年十月四日	三〇一	土地	同
同年同月同日	三〇三	土地	同
同三十四年五月九日	三八九	土地	同

○司法省告示第四十二號

水戸地方裁判所管内麻生區裁判所矢田部出張所ニ備ヘアル左記ノ舊地所登記簿及ヒ舊建物登記簿ハ滅失ノ虞アルヲ以テ不動産登記法第二十四條ニ依リ其登記ノ轉寫ヲ命シタリ

明治四十年六月十八日

司法大臣松田正久

(別記)

滅失ノ虞アル登記簿

- 一 鹿島郡若松村大字石田新田舊地所登記簿
- 一 同郡野村大字芝崎舊地所登記簿
- 一 同郡同村大字石神舊地所登記簿
- 一 同郡同村大字高濱舊地所登記簿
- 一 同郡同村大字田畑舊地所登記簿
- 一 同郡若松村大字柳川新田舊建物登記簿
- 一 同郡野村大字奥野谷舊建物登記簿
- 一 同郡同村大字知手舊建物登記簿
- 一 同郡同村大字溝口舊建物登記簿

- 第一冊
- 第二冊
- 第三冊
- 第四冊
- 第五冊
- 第六冊
- 第七冊
- 第八冊
- 第九冊
- 第十冊



○文部省告示第七十號  
富山縣高岡市博勞町ニ設置セル富山縣立高岡高等女學校ノ位置ヲ富山縣高岡市横田町及射水郡横田村ニ變更ノ件認可セリ

文部大臣牧野伸顯

明治四十年六月三日  
○文部省告示第七十一號  
愛知縣町立熱田高等女學校ノ組織ヲ變更シ明治四十年六月ヨリ名古屋市立熱田高等女學校ト改稱ノ件認可セリ

文部大臣牧野伸顯

明治四十年六月五日  
○文部省告示第七十二號  
美術展覽會規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

文部大臣牧野伸顯

美術展覽會規程

第一章 總則

- 第一條 本會ハ毎年一回之ヲ開ク開會ノ場所及期日ハ其ノ都度之ヲ告示ス
- 第二條 出品ハ日本畫西洋畫及彫刻ノ三科トス
- 第三條 出品ハ鑑査ヲ經タルモノニ限り之ヲ陳列ス但シ審査委員ノ出品及本會ニ於テ一等賞若ハ二等賞ヲ受ケタル者ノ次回ノ出品ハ此限ニアラス
- 第四條 出品ノ荷造及運送費ハ總テ出品人ノ負擔トス
- 第五條 本會ハ出品ノ保管ニ關シ十分ノ注意ヲ爲スト雖出品ノ紛失若ハ損害ニ對シ一切其ノ責任セス
- 第六條 出品人ノ承諾ヲ得且本會ノ許可ヲ得ルニテラサレハ出品ノ攝影若ハ模寫ヲ爲スコトヲ得ス本會ハ出品ヲ攝影模寫シ又ハ之ヲ印行スルコトアルヘシ

第七條 出品ノ觀覽及購買ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ告示ス

第二章 出品

- 第八條 出品ハ自己ノ製作シタルモノニ限ル
- 第九條 彫刻科ノ出品ニシテ原型製作者ト實材製作者ト其ノ人ヲ異ニスルトキハ原型製作者ノミ共ノ出品人ト爲ルコトヲ得
- 第十條 同一人ノ出品ハ三點以內ニ限ル
- 第十一條 左ニ掲クルモノハ出品スルコトヲ得ス
  - 一 明治三十六年以前ノ製作ニ係ルモノ
  - 二 内外國博覽會其ノ他ノ展覽會等ニ於テ審査ヲ受ケタルモノ
  - 三 風致ニ害アリト認ムルモノ
- 第十二條 出品ヲ爲サントスル者ハ甲號書式ノ願書乙號書式ノ解説書及出品ヲ差出スヘシ其ノ期日等ハ別ニ之ヲ告示ス
- 第十三條 出品ハ其ノ性質若ハ狀態ニ依リ額面若ハ軸物ト爲シ又ハ枠、線ヲ附スル等出品人ニ於テ適當ノ裝飾設備ヲ爲スヘシ
- 第十四條 鑑査ノ上陳列セスト定メタル出品ハ本會ノ通知ニ依リ出品人ニ於テ遲滞ナク之ヲ搬出スヘシ若シ通知ヲ發シタル日ヨリ二十日ヲ經ルモノ之ヲ搬出セザルトキハ本會ニ於テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ
- 第十五條 本會ニ於テ定メタル出品ノ位置配列等ニ對シ出品人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス
- 第十六條 出品ニ就テ賣買約定ヲ爲シタルトキハ其ノ科名及品名ヲ記載シ出品人ヨリ遲滞ナク本會ニ届出ツヘシ
- 第十七條 出品ハ開會中許可ヲ得ステテ之ヲ搬出スルコトヲ得ス



出品ノ搬出期間ハ開會後二十日以内トス若シ期間内ニ搬出セサル者アルトキハ本會ニ於テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第三章 鑑査及審査

第十八條 出品ノ鑑査及審査ハ各科ニ就キ審査委員之ヲ行フ

第十九條 美術審査委員長ハ各科毎ニ委員中ヨリ一人ノ主任ヲ命スヘシ

第二十條 陳列ヲ爲シタル出品ハ總テ審査ヲ受ケルモノトス

第二十一條 出品人ハ其ノ出品ノ鑑査若シハ審査ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十二條 鑑査ニ對シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十三條 委員ハ各出品ニ就キ解説書ヲ参照シテ鑑査及審査ヲ爲スヘシ

第二十四條 鑑査ハ出席委員過半数ノ同意ヲ以テ陳列スヘキ出品ヲ定ム

第二十五條 審査ハ委員ノ投票ニ依リテ之ヲ行フ

委員ハ出品ニ就キ各評點ヲ附シ綱印ノ上之ヲ主任ニ差出スヘシ評點ハ百點ヲ以テ最高トス

主任ハ委員ノ評點ヲ取總シ其ノ平均評點ヲ算出シテ之ヲ委員長ニ報告スヘシ

第二十六條 擬賞ハ前條第三項ノ報告ニ基キ委員總會ノ決議ヲ以テ之ヲ確定ス

委員總會ハ委員ノ半数以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

第四章 褒賞及買上

第二十七條 擬賞ノ結果ニ依リ優等ト認ムル出品ニ關シ共ノ出品人ニ褒賞ヲ授與ス

第二十八條 褒賞ハ文部大臣之ヲ授與ス

第二十九條 褒賞ハ左ノ三種トス

壹等賞

貳等賞

參等賞

第三十條 出品人ハ褒賞ノ受領ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十一條 政府ニ於テ買上クヘキ出品ハ買上品審査委員ノ意見ヲ聽キ褒賞ヲ受ケタル出品及審査委員ノ出品中ヨリ文部大臣之ヲ選定ス

買上品審査委員ハ審査委員中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

(甲號書式)

出品願

私儀美術展覽會規程ヲ遵奉シ別紙目錄ノ通り出品致度候間許可相成度此段出願候也

年 月 日

住所

職業

氏 名

氏 名

名

(乙號書式)

文部大臣宛

解説書

科名	番號	品名	代價	出品人	住所
					職業
命題ノ説明					
傳記考證其ノ他命題ノ由來ヲ記スヘシ					
履歴					
流派師傳其ノ他條業ノ履歴ヲ記スヘシ					
備考 非賣品ハ代價ノ欄ニ非賣品ト書スヘシ					



○文部省告示第七十三號  
私立信濃圖書館ヲ長野縣長野市縣町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ  
明治四十年六月十一日 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第七十四號  
福島縣河沼郡立農業學校ノ開校ヲ五月ニ延期ノ件認可セリ  
明治四十年六月十二日 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第七十五號  
新潟縣古志郡上組村ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ新潟縣古志郡立上組農學校ヲ設置シ明治四十一年四月ヨリ開校ノ件認可セリ  
明治四十年六月十二日 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第七十六號  
私立高岡圖書館ヲ富山縣高岡市高岡高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ  
明治四十年六月十三日 文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第七十七號  
明治四十年第二回定期醫術開業試驗施行ノ地及期日等左ノ通定  
明治四十年六月十三日 文部大臣牧野伸顯

一 試驗施行ノ地	地方廳所在地	後期實地試驗	東京、大阪、熊本
前期試驗	同上	齒科實地試驗	東京、大阪
後期學說試驗	同上		
齒科學說試驗	同上		
二 試驗期日			

明治四十年九月二日ヨリ開始ス  
前期試驗後期學說試驗齒科學說試驗ノ日割及後期實地試驗、齒科實地試驗ヲ受クヘキ者ノ氏名及受験日時ハ委員長之ヲ公告ス

三 願書提出方  
後期試驗及齒科試驗出願者ニシテ學說試驗或實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ地方廳ニ差出スヘシ

四 受験地ノ變更  
願書提出後止ムヲ得サル事故ニ依リ受験地ヲ變更セントスル者ハ七月二十日迄ニ茲ニ試驗願書ヲ提出シタル地方廳ニ共申告ヲ爲シタル者ニ限り之ヲ許可ス

○文部省告示第七十八號  
明治四十年第二回藥劑師試驗施行ノ地及期日等左ノ通定  
明治四十年六月十三日 文部大臣牧野伸顯

一 試驗施行ノ地	地方廳所在地	實地試驗	東京、大阪
學說試驗	同上		
二 試驗期日			
學說試驗	同上		
三 願書提出方			
試驗出願者ニシテ學說試驗或實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ地方廳ニ差出スヘシ			



四 受験地ノ變更

願書提出後止ムヲ得サル事故ニ依リ受験地ヲ變更セントスル者ハ七月二十日迄ニ曩ニ試験願書ヲ提出シタル地方廳ニ其申告ヲ爲シタル者ニ限り之ヲ許可ス

○文部省告示第七十九號

東京ニ於テ臨時ニ醫術開業後期實地試験ヲ受ケントシ本年六月三十日マテニ出願シタル者ニ就テハ本年第二回定期試験ノ際試験ヲ行フ

明治四十年六月十三日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十號

德島縣那賀郡見能林村大字答島ニ設置セル縣立正式警報信號標ハ修繕落成ニ付本月五日ヨリ揚卸開始ノ旨報告セリ

明治四十年六月十三日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十一號

高知縣知事ハ同縣幡多郡奥内村大字柏島ニ縣立正式警報信號標ヲ設置シ本月十日ヨリ揚卸開始ノ旨報告セリ

明治四十年六月十四日

文部大臣牧野伸顯



○文部省告示第八十二號  
右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

東京府私立聖學院中學校

明治四十年六月十五日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十三號

本年福島縣ニ於テ開設スヘキ實業學科教員夏期講習會ノ會場ハ福島縣立實業學校ノ處同縣師範學校ニ變更ス

明治四十年六月十八日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十四號

青森縣青森市大字米町ニ設置セル私立青森圖書館ヲ廢止セル旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十年六月十九日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十五號

鳥取縣氣高郡吉岡村ニ徒弟學校規程ニ依リ鳥取縣氣高郡立工業徒弟學校ヲ設置シ明治四十年六月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十年六月二十二日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十六號

新潟縣中頸城郡直江津町ニ設置セル町立正式警報信號標落成ニ付本月十日ヨリ揚卸開始ノ旨報告セリ

明治四十年六月二十四日

文部大臣牧野伸顯

○文部省告示第八十七號

福岡縣三池郡銀水村ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ福岡縣三池郡立農業學校ヲ設置シ明治四十年



































































































明治四十年六月 告示 農商務省第四百四十二號

五月十日 明治三十四年五月十五日										五月十日 明治三十四年五月十五日										
神尾島 保小伊伊					保小伊伊 保小伊伊					神尾島 保小伊伊					保小伊伊 保小伊伊					
子安貝漁業	高尻貝漁業	夜光貝漁業	磯魚刺網漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業
五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日
神尾島 保小伊伊										保小伊伊 保小伊伊										
代表者 牛										代表者 牛										

一三四〇

五月十日 明治三十四年五月十五日										五月十日 明治三十四年五月十五日										
神尾島 保小伊伊					保小伊伊 保小伊伊					神尾島 保小伊伊					保小伊伊 保小伊伊					
子安貝漁業	高尻貝漁業	夜光貝漁業	磯魚刺網漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業	磯魚手釣漁業
五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日	五月二十一日
神尾島 保小伊伊										保小伊伊 保小伊伊										
代表者 牛										代表者 牛										

明治四十年六月 告示 農商務省第四百四十二號

一三四一



















三六 明治 四十年 六月 十日	三五 明治 四十年 六月 十日	三四 明治 四十年 六月 十日	三三 明治 四十年 六月 十日	三二 明治 四十年 六月 十日	三一 明治 四十年 六月 十日
宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道
海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業
至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日
第二十	第二十	第二十	第二十	第二十	第二十
代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合

三六 明治 四十年 六月 十日	三五 明治 四十年 六月 十日	三四 明治 四十年 六月 十日	三三 明治 四十年 六月 十日	三二 明治 四十年 六月 十日	三一 明治 四十年 六月 十日
宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道	宮崎縣 宮崎郡 宮崎町 大字 折生道 折生道 折生道
海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業	海苔漁業 鮑漁業 螺漁業 ふぶのり漁業 あそび漁業
至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日	至九月三十日
第二十	第二十	第二十	第二十	第二十	第二十
代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合	代表者 折生道漁業組合



三九〇 日十月十治 一六四										三九一 日十月十治 一六四										
山口縣 浦島郡 浦島村 北角ノ島										山口縣 浦島郡 浦島村 北角ノ島										
鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜
五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日
二十										二十										
山口縣浦島郡浦島村北角ノ島										山口縣浦島郡浦島村北角ノ島										

三九〇 日十月十治 一六四										三九一 日十月十治 一六四										
山口縣 浦島郡 浦島村 北角ノ島										山口縣 浦島郡 浦島村 北角ノ島										
鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜	鹿角菜漁業鹿角菜
五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日	五月三十日
二十										二十										
山口縣浦島郡浦島村北角ノ島										山口縣浦島郡浦島村北角ノ島										



